

令和6年度 栃木県こどもモニター
第4回アンケート結果
(小学生)

調査実施の概要

1. 栃木県こどもモニターってなに

栃木県は、こどもに関する施策を考えて実現するため、こどもや若者、保護者の意見やアイデアを継続的に集め、政策に取り入れることを目的として「栃木県こどもモニター」を募集します。

モニターのみなさんには、栃木県についてのアンケートから意見を収集し、これからの栃木県の施策やルール作りにつなげていきます。

もっと暮らしやすい栃木県になるように、いっしょに考えよう！

2. 第4回アンケート期間

令和7年1月8日（水曜日）から2月7日（金曜日）

3. アンケート方法

アンケート対象者にメールで回答 URL を送付、WEB サイトを通じてアンケートに回答。

4. モニター数

395名

5. 第4回アンケート回答者数

332名

6. 第4回アンケート回答率

84.1%

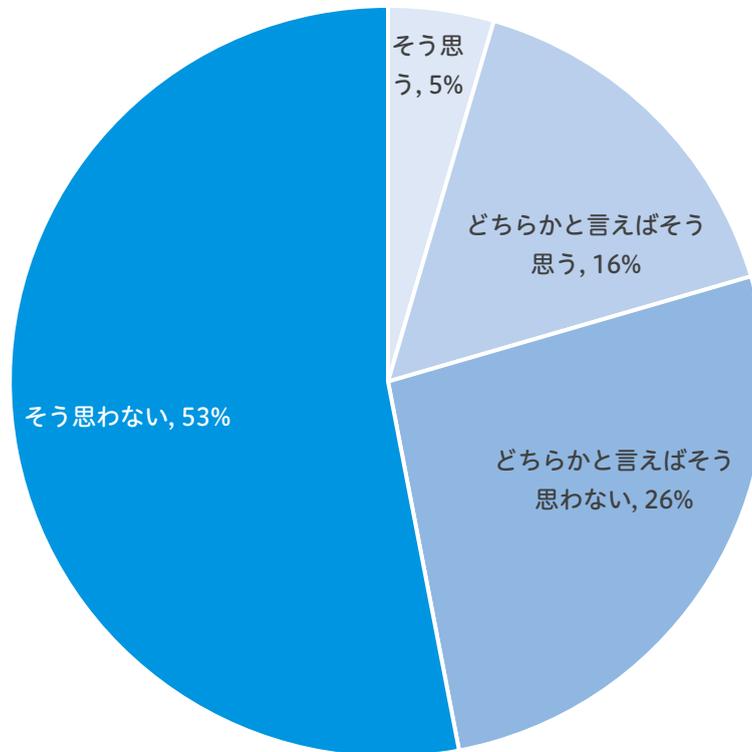
※「その他」を選択した場合の自由記述欄は原文のまま掲載しています。

性別	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
男子	185	159	47.9%	85.9%
女子	208	171	51.5%	82.2%
答えたくない	2	2	0.6%	100.0%
合計	395	332	-	84.1%

学年	アンケート 対象者	回答人数	構成比	回答率
小学1年生	65	51	15.4%	78.5%
小学2年生	73	60	18.1%	82.2%
小学3年生	67	56	16.9%	83.6%
小学4年生	75	66	19.9%	88.0%
小学5年生	67	56	16.9%	83.6%
小学6年生	48	43	13.0%	89.6%
合計	395	332	-	84.1%

※ 集計結果は百分率(%)で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出したものになります。
そのため、合計が100%にならないものがあります。

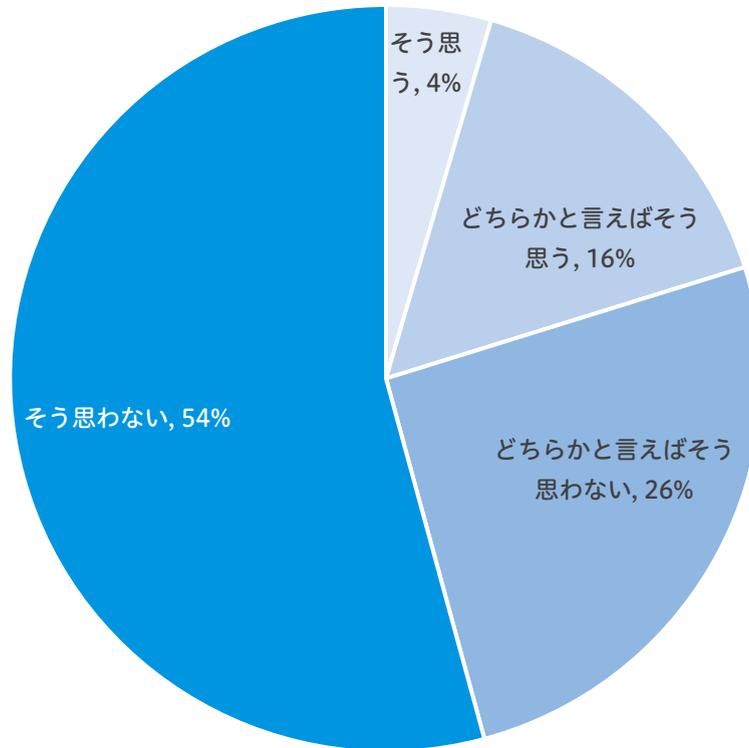
Q1.男性が夜遅くまで仕事をしたり、休みの日も仕事へ行くのは当たり前だと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(53%)と「どちらかと言えばそう思わない」(26%)を合わせると、8割ほどの人が「男性が夜遅くまで仕事をしたり、休みの日も仕事へ行くのは当たり前だ」と思っていない結果となった。

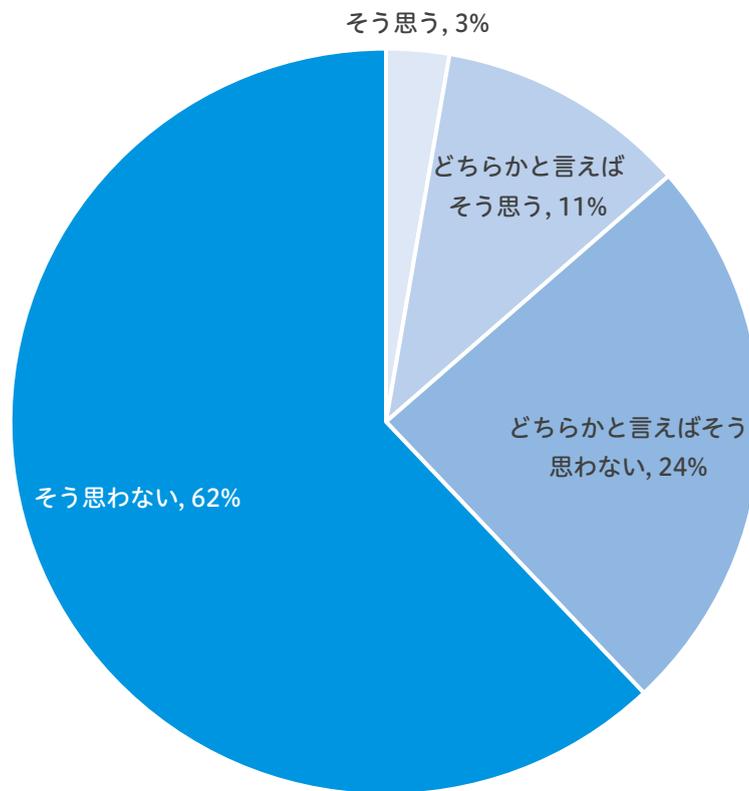
Q2.共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(54%)と「どちらかと言えばそう思わない」(26%)を合わせると8割の人が、「共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ」と思っていない結果となった。

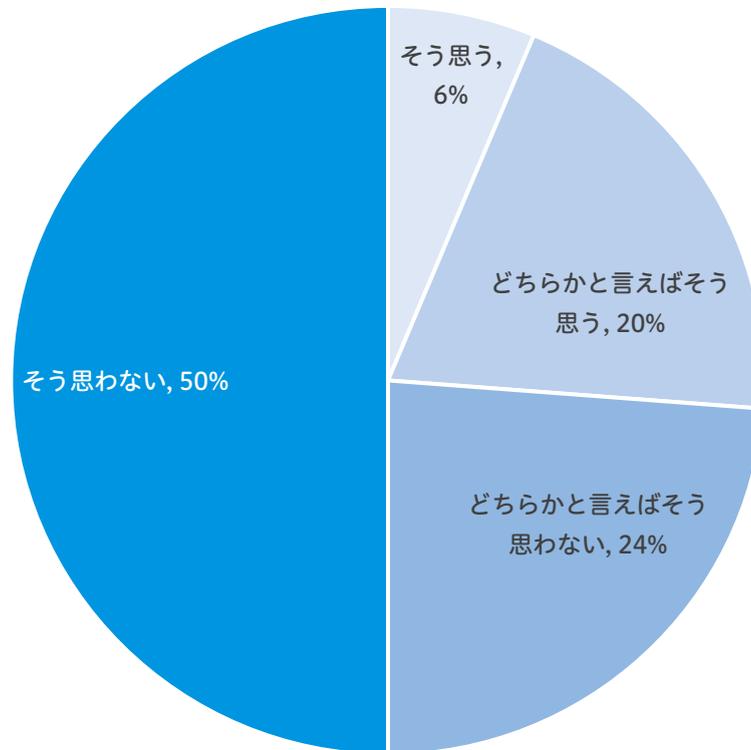
Q3.職場では、女性は男性のサポートにまわるべきだと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(62%)、「どちらかと言えばそう思わない」(24%)から、8割以上の方が「職場では、女性は男性のサポートにまわるべきだ」と思っていない結果となった。

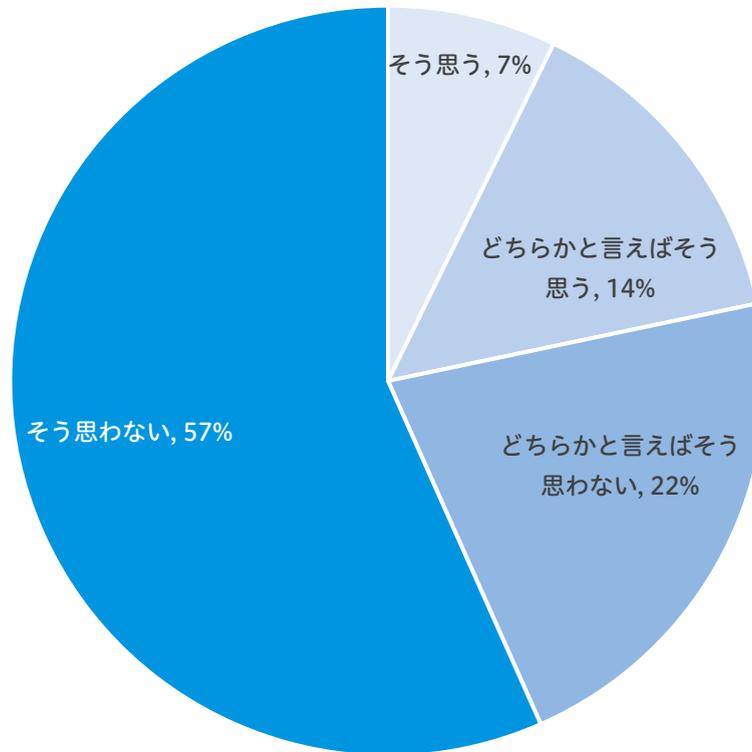
Q4.女性は結婚して家庭に入る方が良いと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(50%)、「どちらかと言えばそう思わない」(24%)から、7割以上の方が「女性は結婚して家庭に入る方が良い」と思っていない結果となった。

Q5.PTAには、女性が参加するべきだと思いますか。



【調査結果の概要】

「そう思わない」(57%)、「どちらかと言えばそう思わない」(22%)から、8割ほどの人が「PTAには、女性が参加するべきだ」と思っていない結果となった。

Q6.県では、こどもたちの心と体の健やかな成長などの支援のための計画をたてています。この計画が作られる理由などを皆さんに伝えるための簡単なリーフレットの作成をしています。表紙のデザインは、どれが良いと思いますか。



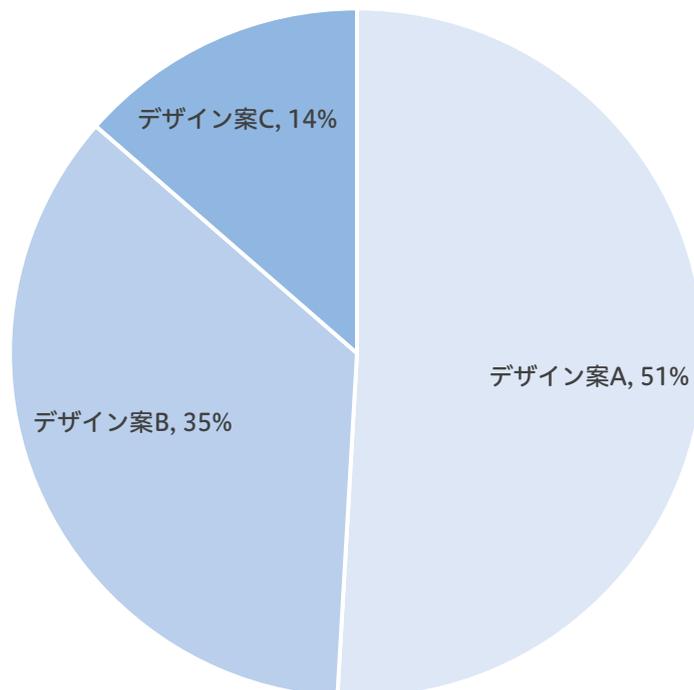
デザイン案A



デザイン案B



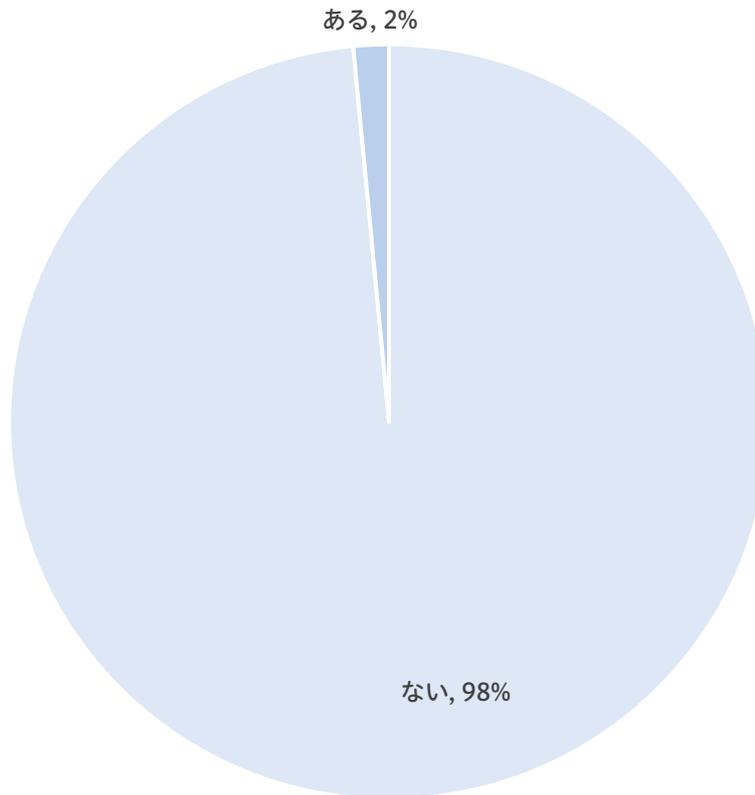
デザイン案C



【調査結果の概要】

「デザイン案 A」が 51%と最も多く、続いて「デザイン案 B」が 35%、「デザイン案 C」が 14%という結果となった。

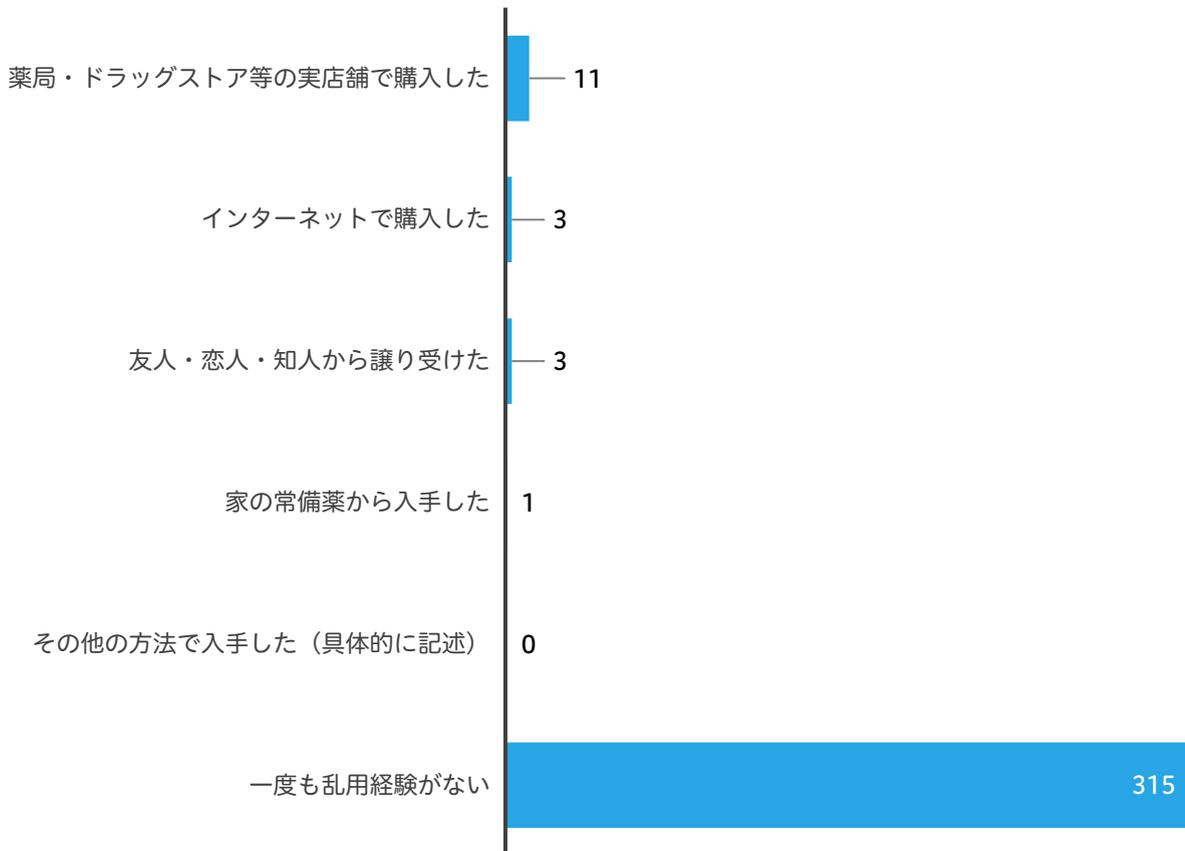
Q7.この1年間に、あなたは市販の咳止め薬、風邪薬、解熱鎮痛薬を乱用目的（治療目的ではなく）で使用した経験がありますか。ここでいう乱用目的とは、「ハイになるため、気分を変えるために決められた量や回数を超えて使用すること」と定義します。



【調査結果の概要】

「ない」が98%と大半を占めており、「ある」が2%という結果となった。

Q8.この1年間に、市販薬の乱用経験がある人のみお答えください（Q7で「ある」と回答した人）。乱用に用いた市販薬をどのように入手しましたか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。



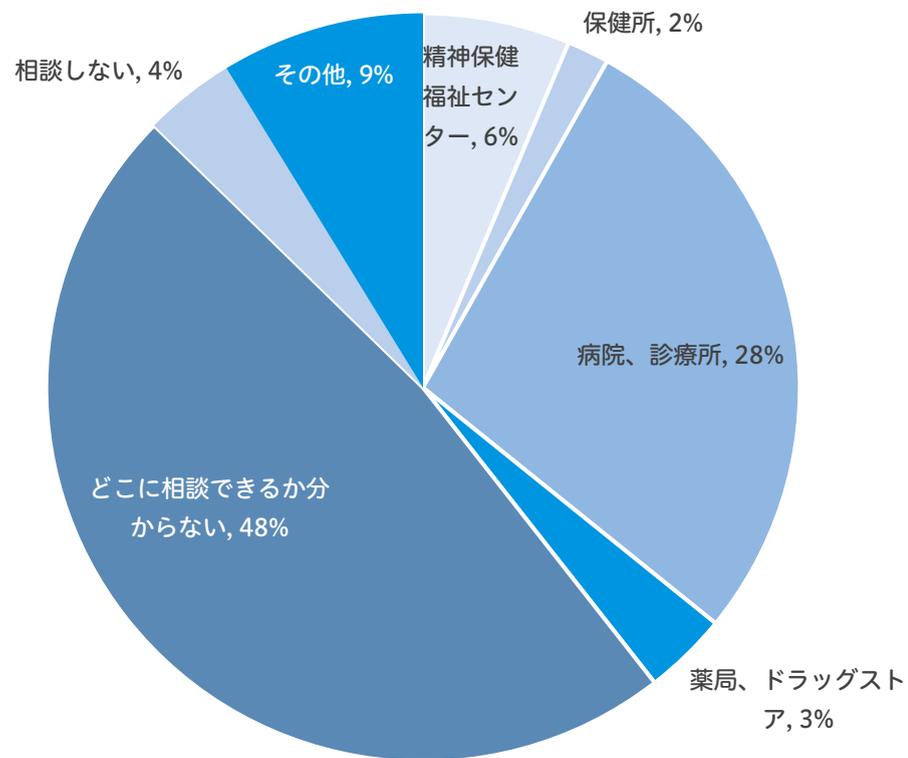
【調査結果の概要】

「一度も乱用経験がない」（315件）が特に多く、「薬局・ドラッグストア等の実店舗で購入した」が11件、「インターネットで購入した」「友人・恋人・知人から譲り受けた」がそれぞれ3件ずつ続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 病院にかかった薬いがい、のんだことはありません。医師の指示どおりの薬しか飲んだ事はない。

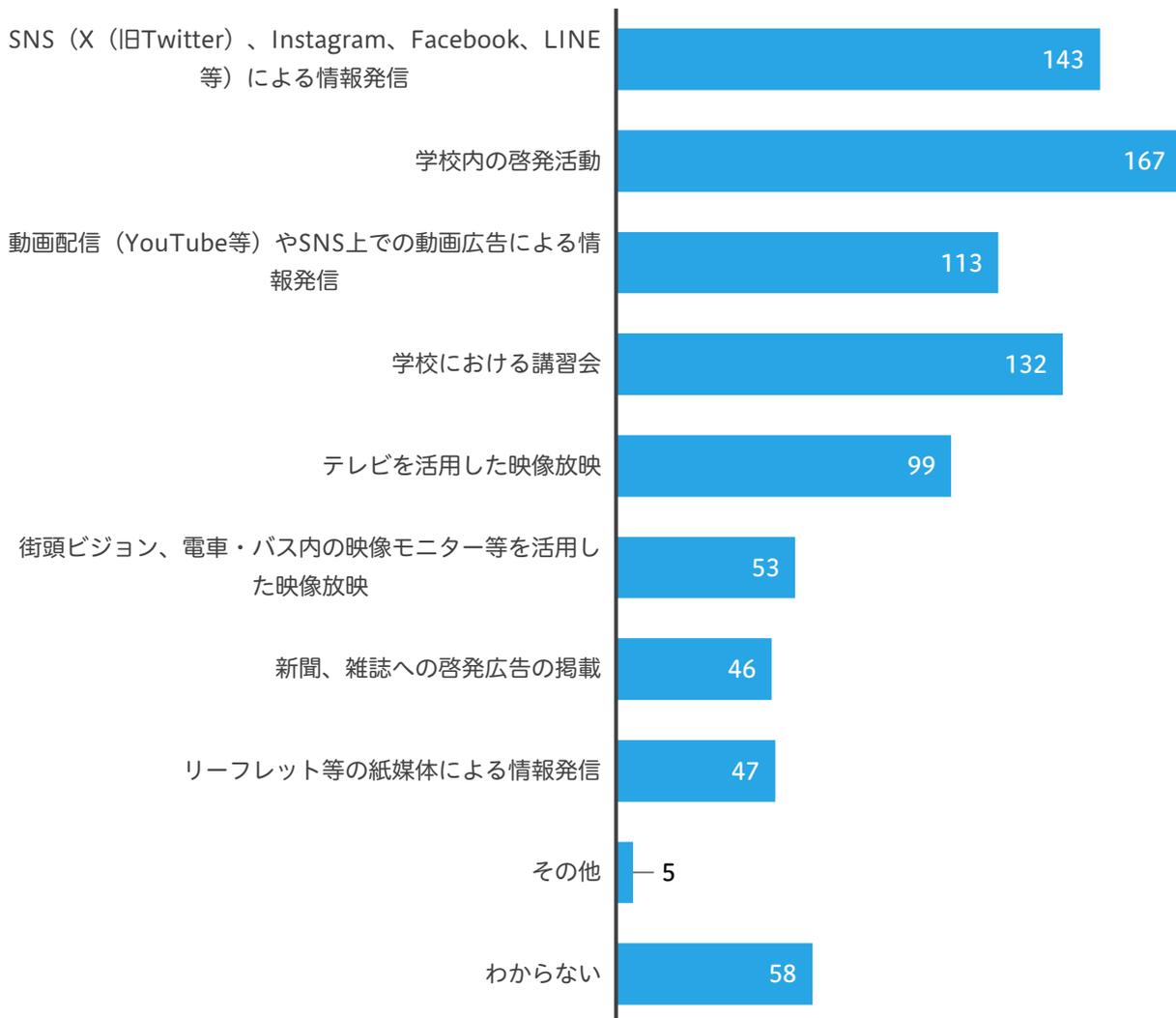
Q9.あなたは、自身または周囲の人が市販薬の過剰摂取（オーバードーズ）に関することで困った時、どこに相談しますか。次の中から1つ選んでください。



【調査結果の概要】

「どこに相談できるかわからない」(48%)が約半数で、続いて「病院、診療所」(28%)、「その他」(9%)という結果となった。

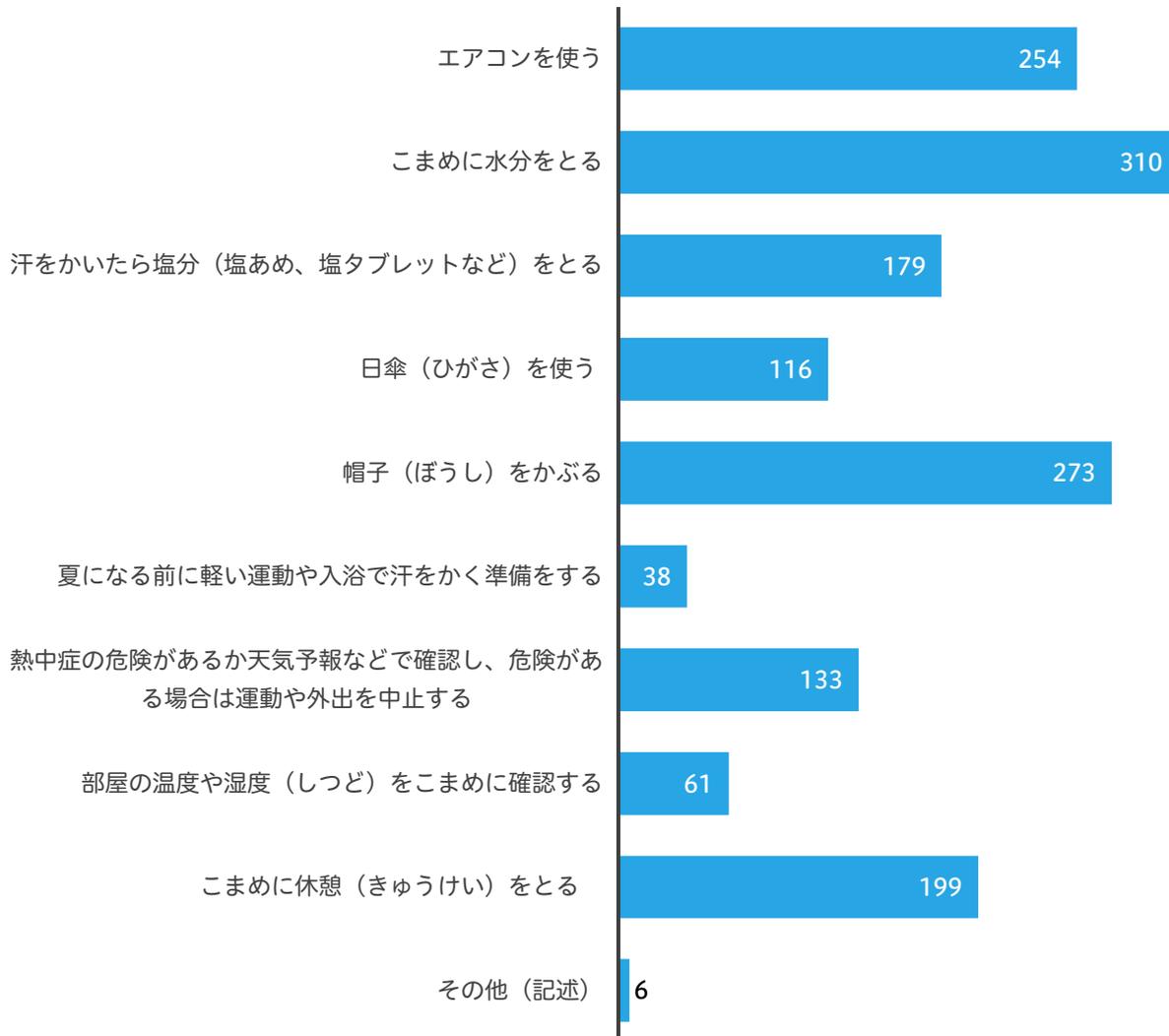
Q10.市販薬の過剰摂取（オーバードーズ）に関する啓発活動について、若者の心に響き、印象に残る啓発をするには、どのような方法が効果的だと思いますか。次の中から当てはまるものをいくつでも選んでください。



【調査結果の概要】

「学校内の啓発活動」(167件)が最も多く、以下に「SNS (X (旧 Twitter)、Instagram、Facebook、LINE 等) による情報発信」(143件)、「学校における講習会」(132件)、「動画配信 (YouTube 等) や SNS 上での動画広告による情報発信」(113件)と続いている。

Q11.あなたは熱中症予防のため、どのような対策を行っていますか。 【いくつか選んでください】



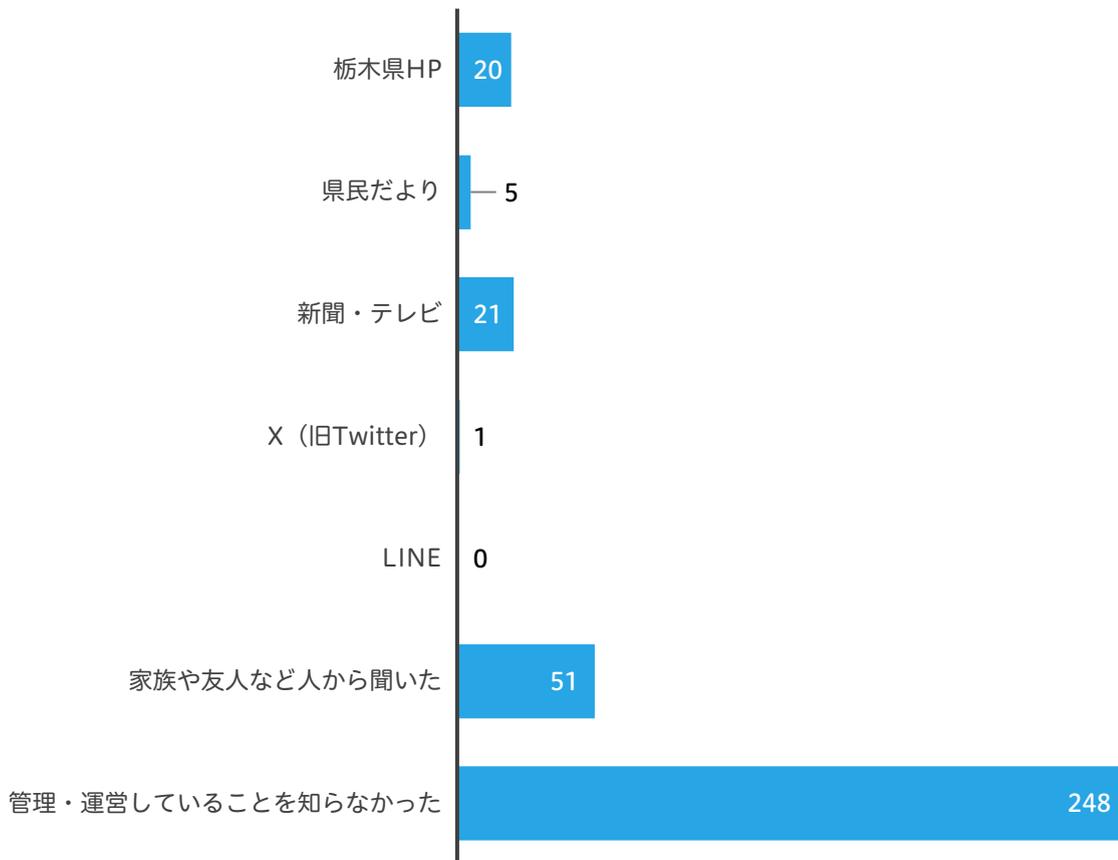
【調査結果の概要】

「こまめに水分をとる」(310件)が最も多く、以下に「帽子（ぼうし）をかぶる」(273件)、「エアコンを使う」(254件)、「こまめに休憩（きゅうけい）をとる」(199件)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ ちょっとでも元気がない人がいたら、大丈夫ですか？と声をかけてたずける。すずしい場所をおしえる。
- ・ きちんと睡眠時間をとる
- ・ クールダウン（氷など）
- ・ 休憩をはさむ
- ・ 首を冷やす など 2件
- ・ ハンディの扇風機や冷却グッズ使用する。
- ・ ひえひえタオルを使う。
- ・ 上着を着ていたりする際は、上着を脱ぐ。

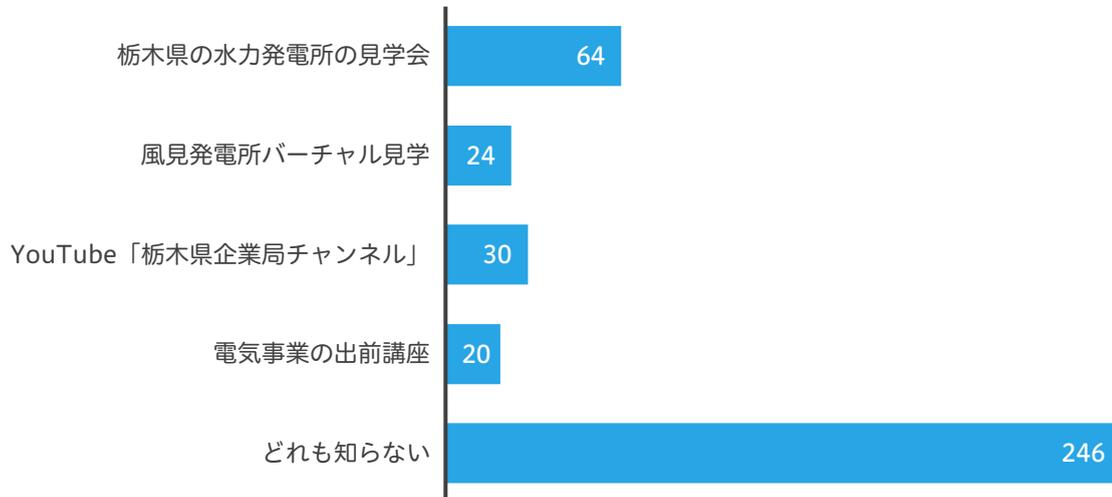
Q12.栃木県は水力発電所を管理・運営していますが、それをどこで知りましたか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「管理・運営していることを知らなかった」(248件)が特に多く、以下に「家族や友人など人から聞いた」(51件)、「新聞・テレビ」(21件)、「栃木県HP」(20件)と続いている。

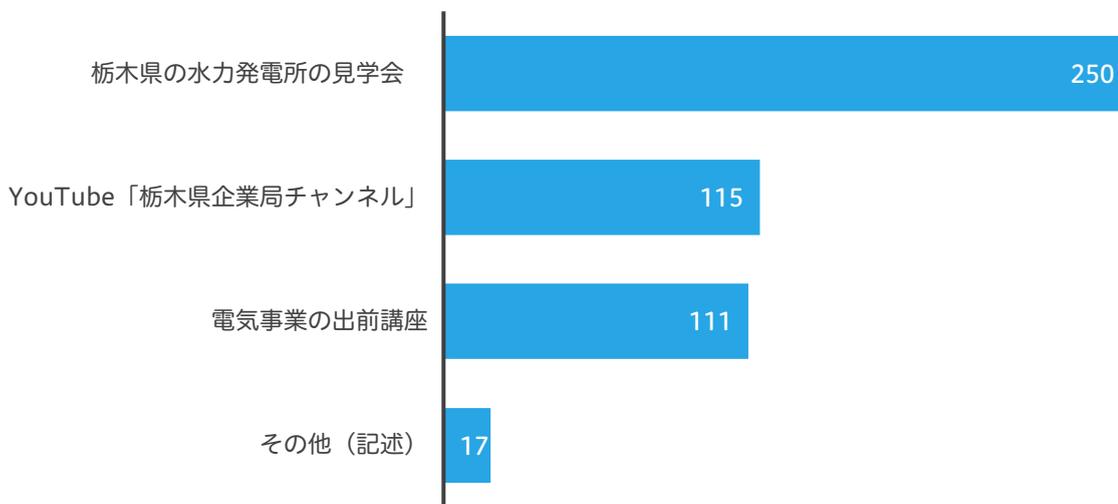
Q13.栃木県の水力発電所について皆さんに知ってもらうため活動を行っています。この中で知っている活動について教えてください。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「どれも知らない」(246件)が特に多く、以下に「栃木県の水力発電所の見学会」(64件)、「YouTube「栃木県企業局チャンネル」」(30件)、「風見発電所バーチャル見学」(24件)と続いている。

Q14.栃木県の水力発電所を皆さんに知ってもらうための活動について、特に実施してほしいことは何ですか。【いくつでも選んでください】



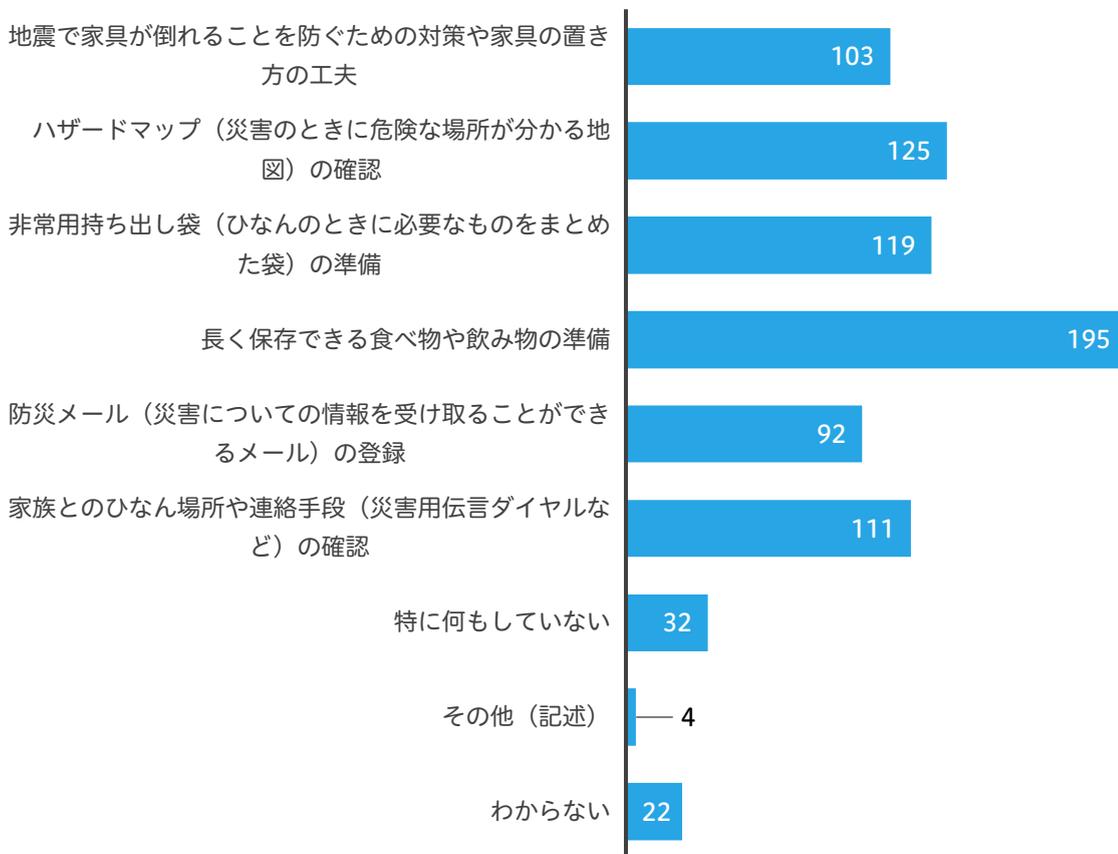
【調査結果の概要】

「栃木県の水力発電所の見学会」（250件）が最も多く、以下に「YouTube「栃木県企業局チャンネル」」（115件）、「電気事業の出前講座」（111件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ とちぎテレビで発信すると思う。
- ・ オンライン見学会
- ・ とちぎ放送などのテレビ媒体も使用する
- ・ 学校で社会の時間に水力発電のチラシを配ってタブレット PC で仕組みを調べるような授業を
すると良いと思います など学校での授業に関すること 5 件
- ・ SNS
- ・ イベント
- ・ ポスター
- ・ 仕組みを知るための工作講座
- ・ みんなが分からないことはやらないで欲しい例えば、言うだけとかは、分からないと思う
- ・ 宿泊学習の日程に見学会を組み込む
- ・ 遠足でいくテレビでカミナリと U 字こーじに宣伝してもらう
- ・ 楽しく学べるアプリ。

Q15.あなたは地震や大雨などの災害に対して、家族とどのような準備をしていますか。【いくつか選んでください】



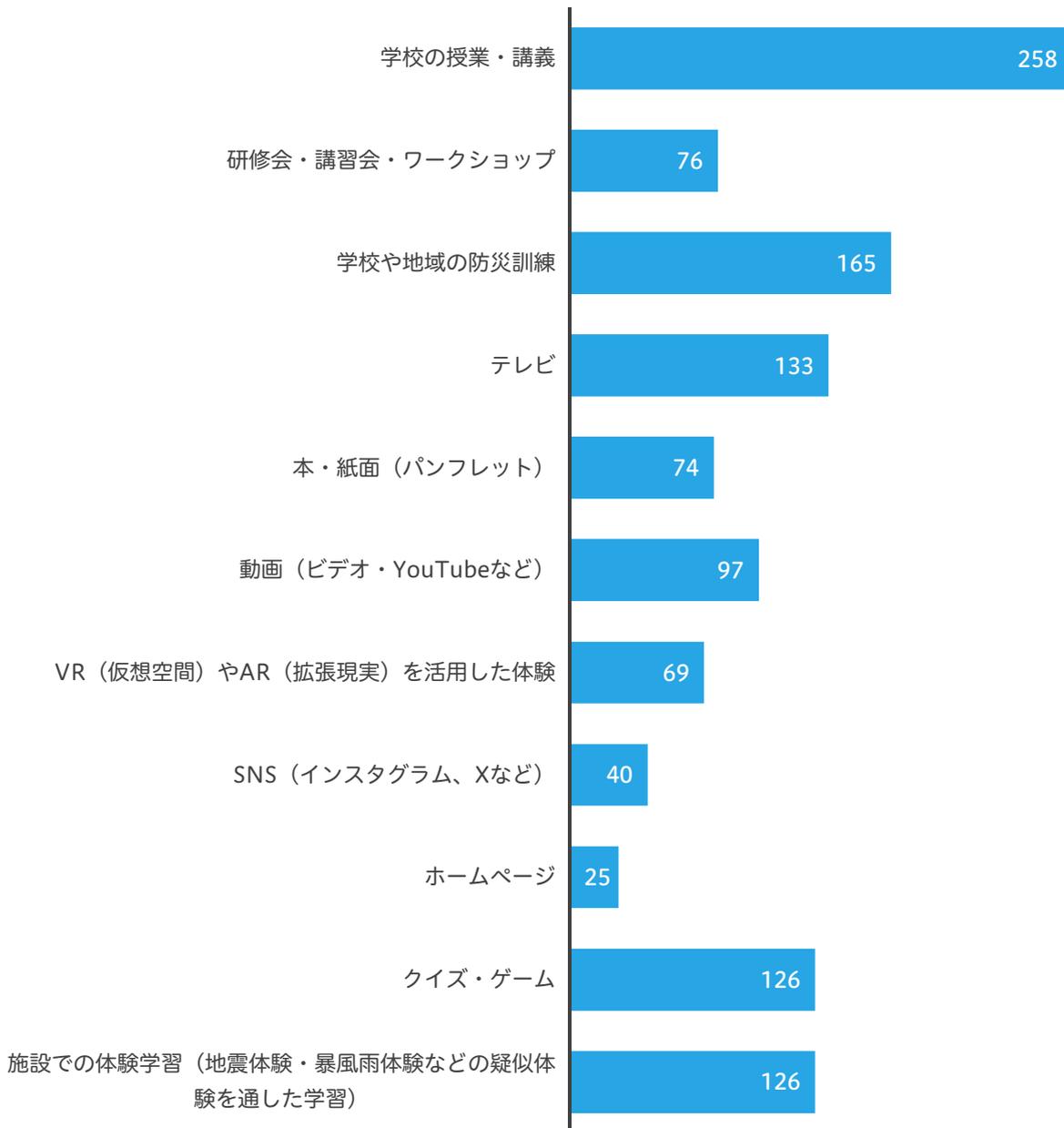
【調査結果の概要】

「長く保存できる食べ物や飲み物の準備」（195件）が最も多く、以下に「ハザードマップ（災害のときに危険な場所が分かる地図）の確認」（125件）、「非常用持ち出し袋（ひなんのときに必要なものをまとめた袋）の準備」（119件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ いえに水や食べ物を買いだめしている。そとで火をおこせるようなものや電気も使えるようなものもじゅんびしている。
- ・ 非常用トイレの準備
- ・ お母さんの携帯番号をおぼえる
- ・ 避難場所の確認

Q16.あなたは、防災について学ぶときにどんな学び方に興味を持ちますか。【いくつか選んでください】

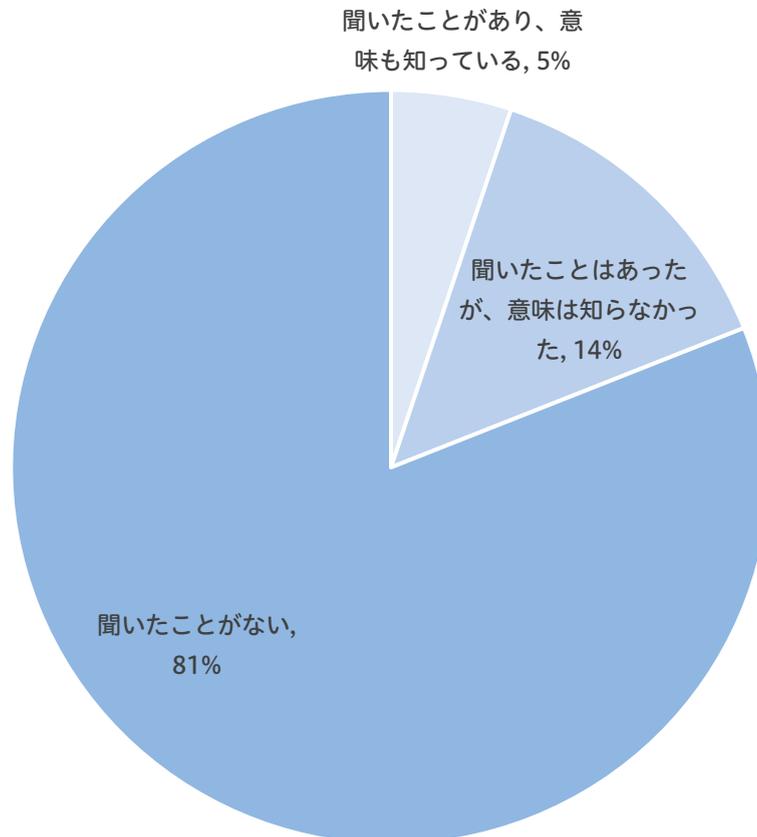


【調査結果の概要】

「学校の授業・講義」(258件)が最も多く、続いて「学校や地域の防災訓練」(165件)が多く、以下に「クイズ・ゲーム」(126件)および「施設での体験学習（地震体験・暴風雨体験などの疑似体験を通じた学習）」(126件)が同数で続いている。

Q17.近年、台風や大雨による災害が増えています。川やダムを管理する人たちだけでなく、流域（りゅういき）に住む全員で、水による災害を減らす取組を「流域治水（りゅういきちすい）」といいます。この言葉を聞いたことがありますか。

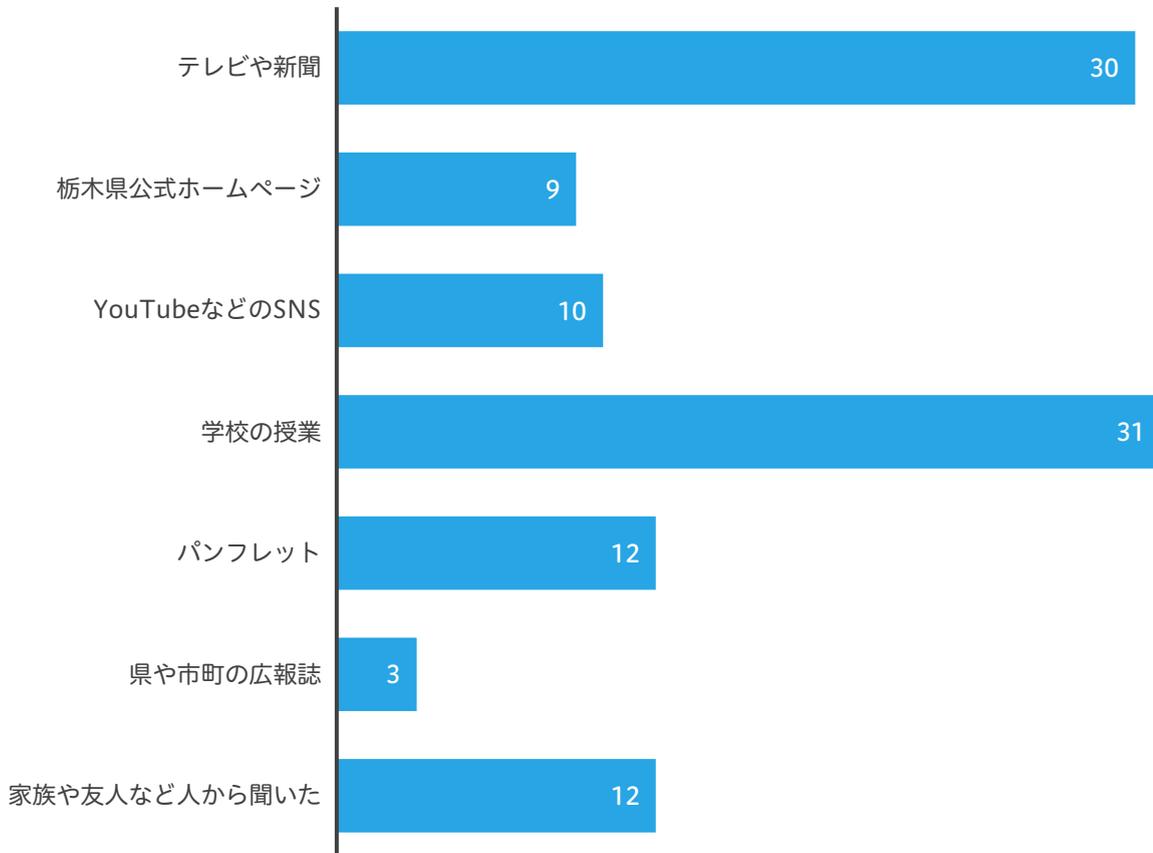
※「流域」とは、降った雨が小さな水路や川を通じて、大きな川に集まる範囲のこと。



【調査結果の概要】

「聞いたことがない」が81%と最も多く、続いて「聞いたことはあったが、意味は知らなかった」が14%、「聞いたことがあり、意味も知っている」が5%という結果となった。

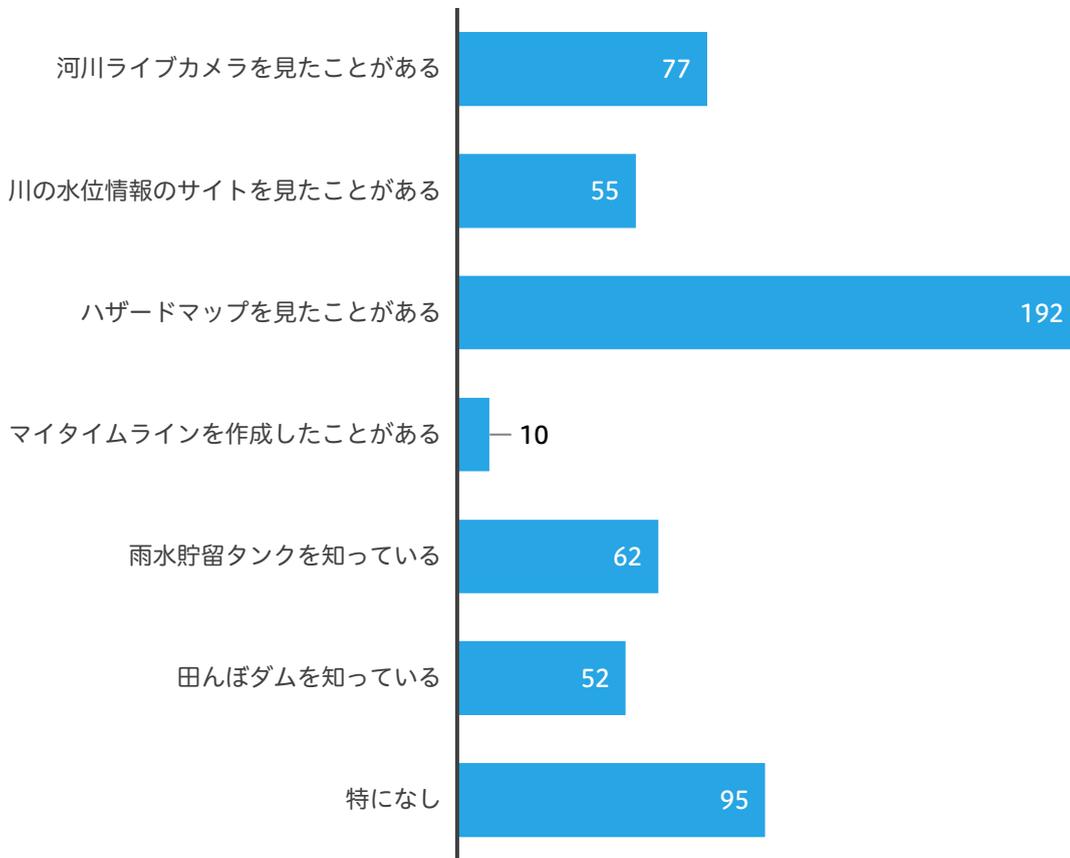
Q18.「Q17」で「聞いたことがあり、意味も知っている」または「聞いたことはあったが、意味は知らなかった」と答えた人は、何で知りましたか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「学校の授業」(31件)が最も多く、次に「テレビや新聞」(30件)が多く、以下に「パンフレット」(12件)と「家族や友人などから聞いた」(12件)が同数で続いている。

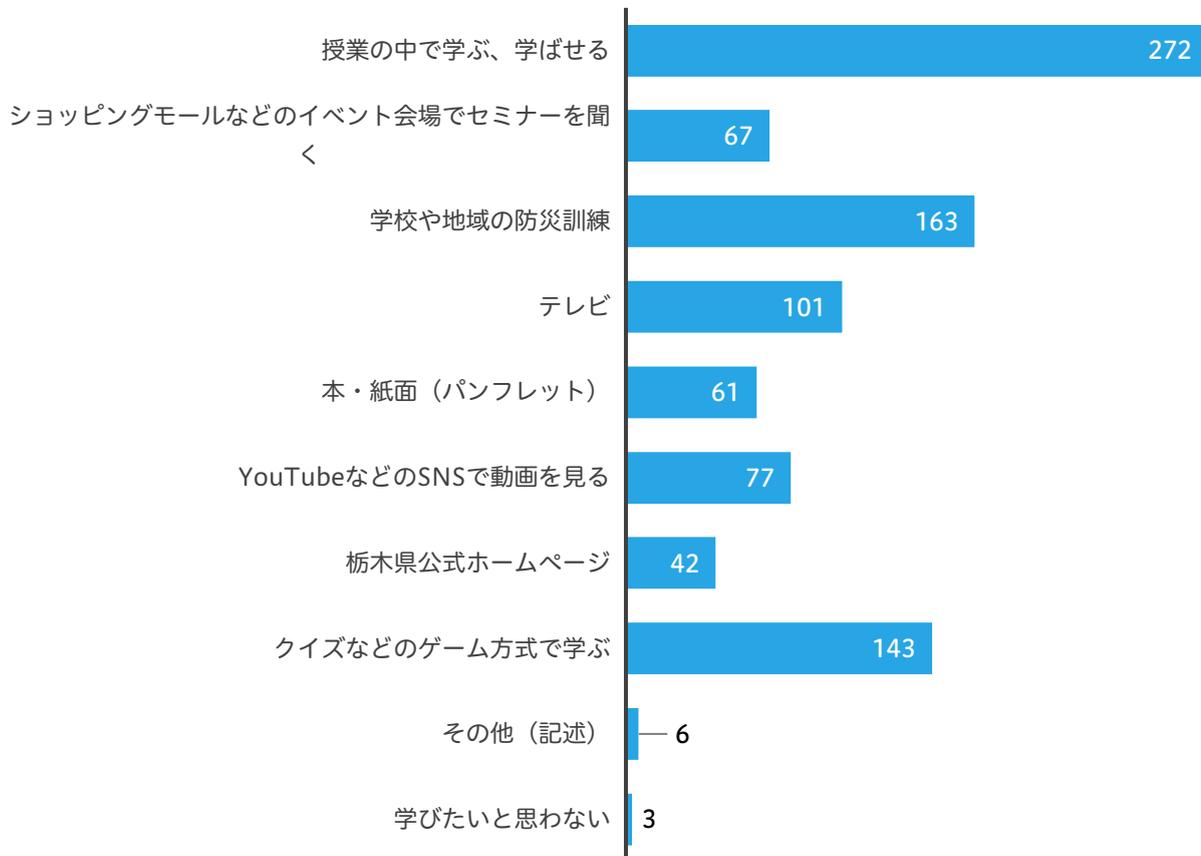
Q19.次の内容のうち、ご自身にあてはまるものはありますか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「ハザードマップを見たことある」(192件)が最も多く、以下に「特になし」(95件)、「河川ライブカメラを見たことがある」(77件)、「雨水貯留タンクを知っている」(62件)と続いている。

Q20.どんな方法であれば、流域治水について学ぶきっかけになりますか。【いくつでも選んでください】



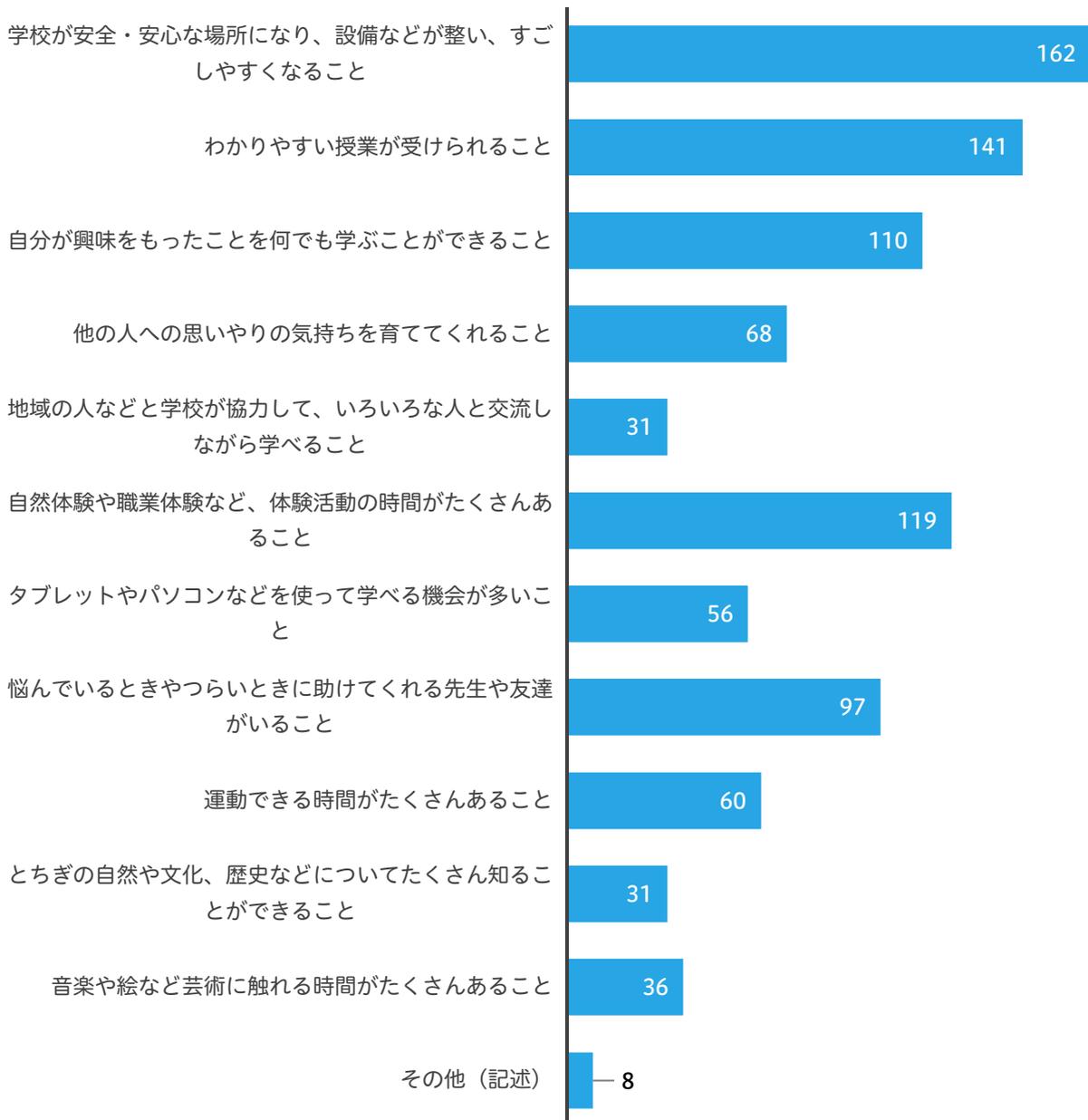
【調査結果の概要】

「授業の中で学ぶ、学ばせる」（272件）が最も多く、以下に「学校や地域の防災訓練」（163件）、「クイズなどのゲーム方式で学ぶ」（143件）、「テレビ」（101件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ ビルなどの、人が多く集まる場所で、動画や説明などのイベントをする。
- ・ 地元の有名人に紹介してもらう。
- ・ 体験できるようにする
- ・ イベントでの講座
- ・ ティッシュの広告
- ・ スマホを持ってる子が多いからホームページに流域治水が分かるゲームを作るのが良いと思う
- ・ チャレンジタッチのようなオンラインライブ授業。
- ・ 択肢に似ているものではありませんが過去の災害の死者や建物の被害状況や実際に体験したかたの談話などが最適だと考えます。

Q21.学校に対して、あなたが特に力を入れて欲しいと思うことは何ですか。【3つまで選んでください】



【調査結果の概要】

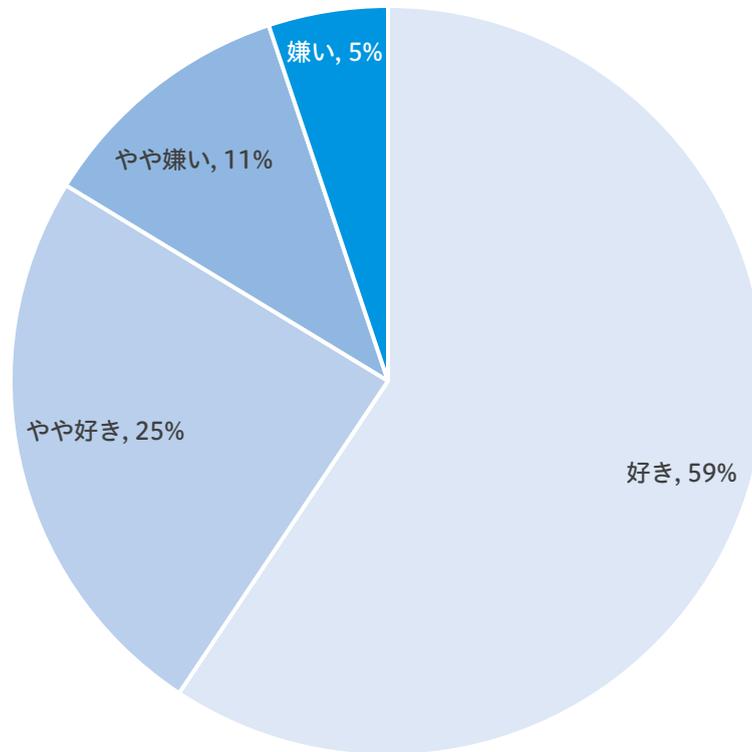
「学校が安全・安心な場所になり、設備などが整い、すごしやすくなること」(162件)が最も多く、以下に「わかりやすい授業が受けられること」(141件)、「自然体験や職業体験など、体験活動の時間がたくさんあること」(119件)、「自分が興味をもったことを何でも学ぶことができること」(110件)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ おともだちや先生とたくさん話したり遊んだり、いっしょにがんばっているいろんなことを達成して、力を合わせる時間がふえてほしいです。

- ・ 気になったことをすぐに調べられるように図書室の本を増やす
- ・ 娘は音楽や図工が好きですが、「なんでも学べる」なら他の選ぶのも当てはまるからなんでも学べる、と答えてました。
- ・ 他の地域で取り入れている、英語で表現教育（ハートグローバル、ヤングアメリカンズ）をしてほしい。栃木県では開催されていないので。
- ・ イベントを通して学習した事を活かす
- ・ 友達と一緒にいる事
- ・ 信じられる先生を1人でもいいのでいてほしい
- ・ アプリ(ゲーム)を使った勉強。
- ・ 不登校支援に力を入れてほしい。教室に入れない子でも学校で他の子と同様に学べる機会や環境を作してほしい。

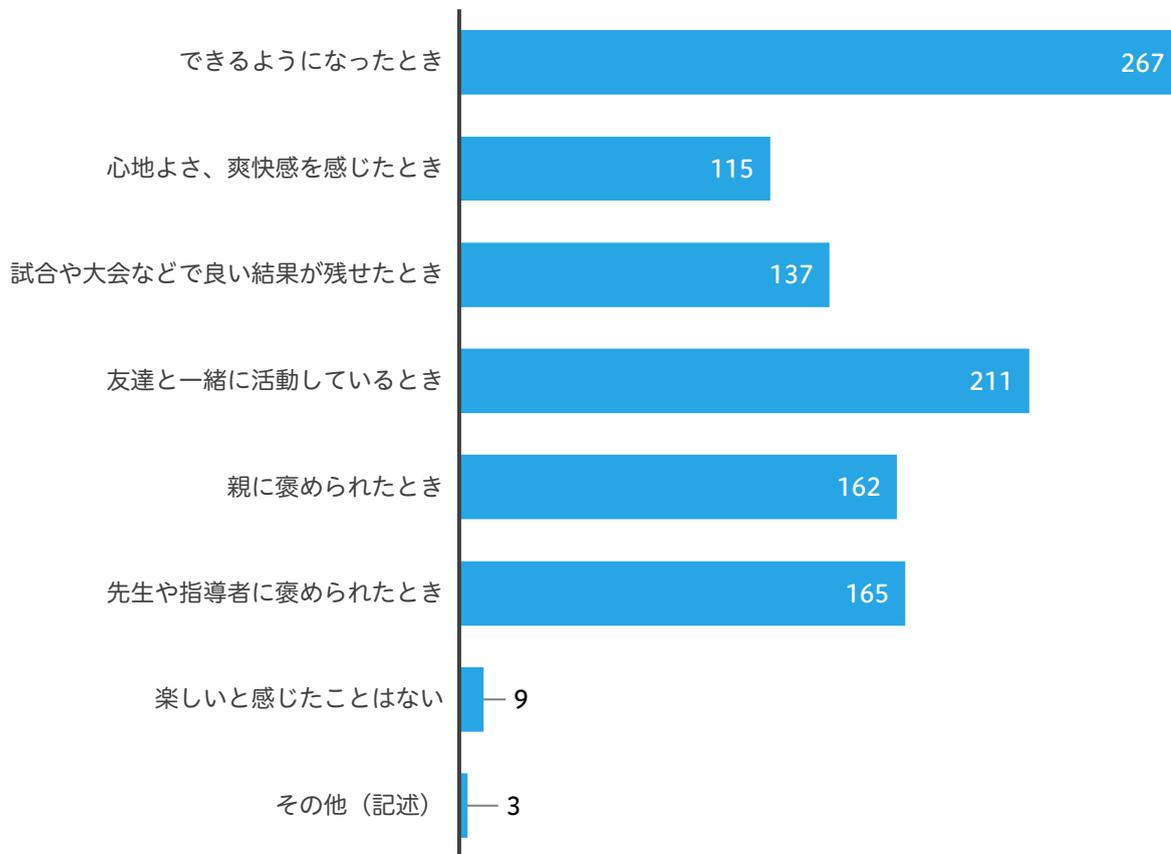
Q22.あなたは、運動やスポーツをすることが好きですか。



【調査結果の概要】

「好き」が59%と最も多く、以下に「やや好き」が25%、「やや嫌い」が11%、「嫌い」が5%と続いている。

Q23.あなたは、運動やスポーツをしていてどんなときが楽しいと感じますか。【いくつでも選んでください】



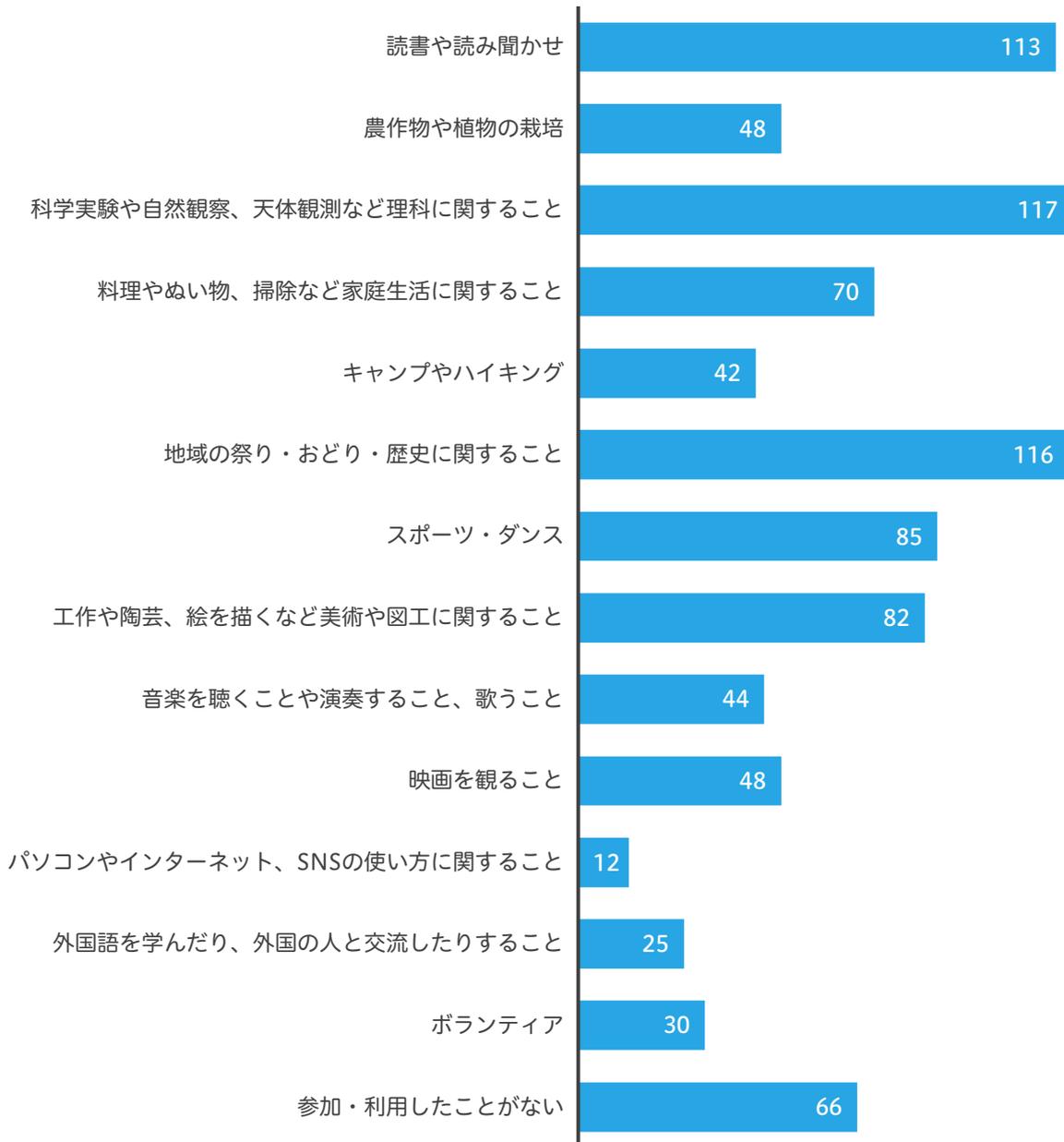
【調査結果の概要】

「できるようになったとき」(267件)が最も多く、以下に「友達と一緒に活動しているとき」(211件)、「先生や指導者に褒められたとき」(165件)、「親に褒められたとき」(162件)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ センスがあるとわかったとき
- ・ みんなで一緒にやる時。
- ・ やることが楽しい

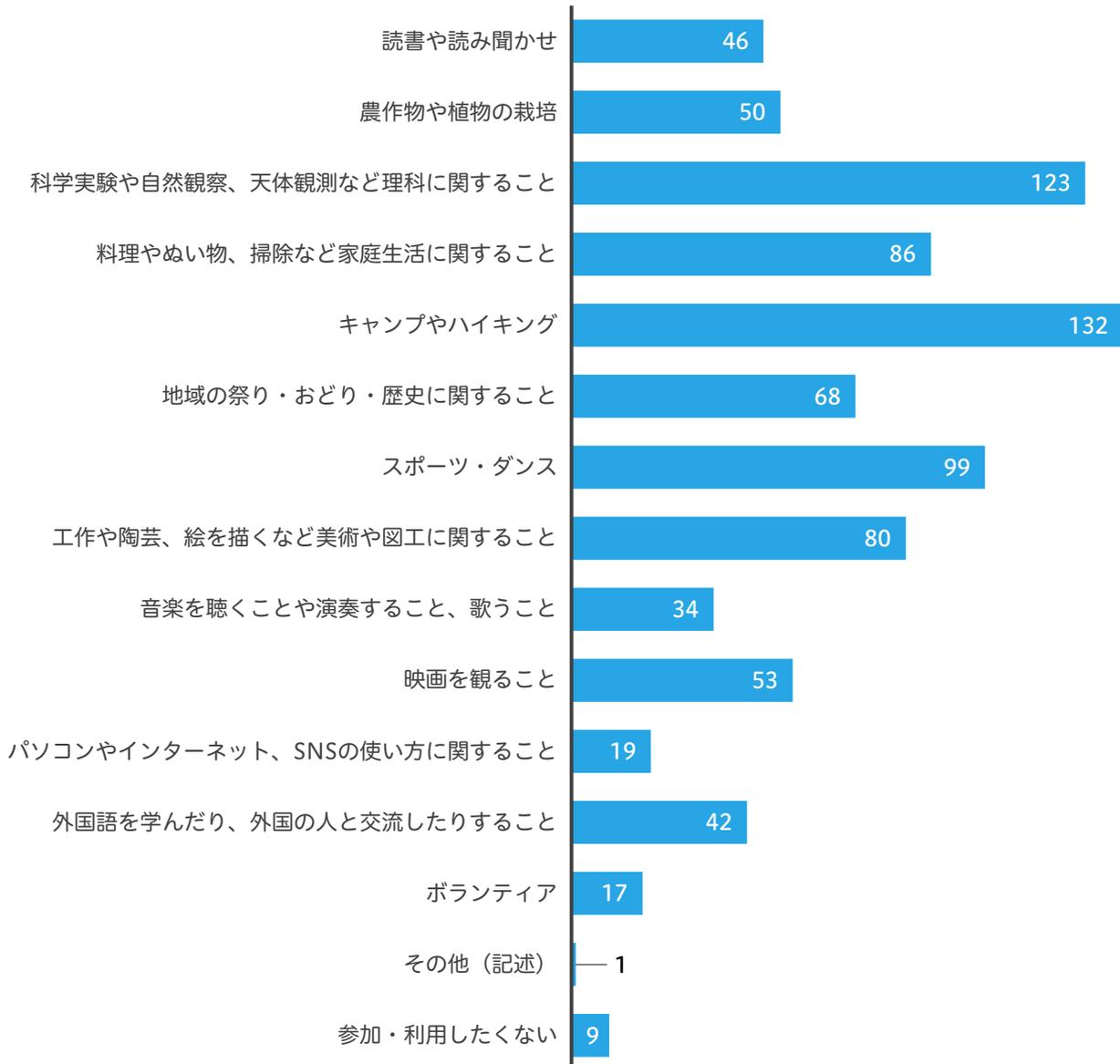
Q24.これまで、地域の公民館や生涯学習センターが実施している講座や教室などで、どのようなものに参加したことがありますか。【いくつでも選んでください】



【調査結果の概要】

「科学実験や自然観察、天体観測など理科に関すること」(116件)が最も多く、以下に「地域の祭り・おどり・歴史に関すること」(116件)、「読書や読み聞かせ」(113件)、「スポーツ・ダンス」(85件)と続いている。

Q25.今後、地域の公民館や生涯学習センターが実施する講座や教室などで、どのようなものに参加してみたいですか。【3つまで選んでください】



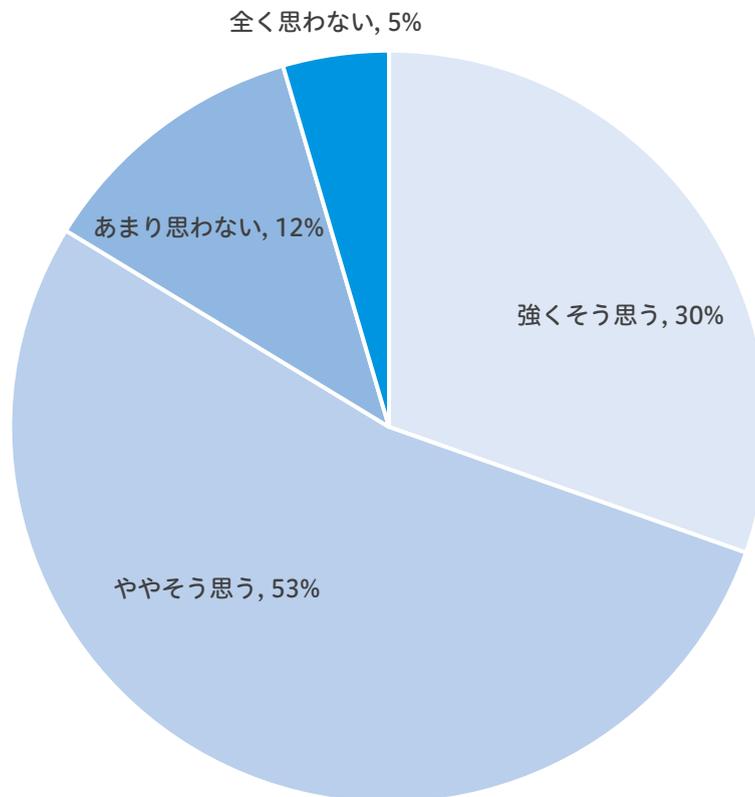
【調査結果の概要】

「キャンプやハイキング」（132件）が最も多く、以下に「科学実験や自然観察、天体観測など理科に関すること」（123件）、「スポーツ・ダンス」（99件）、「料理やぬい物、掃除など家庭生活に関すること」（86件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 運動教室など

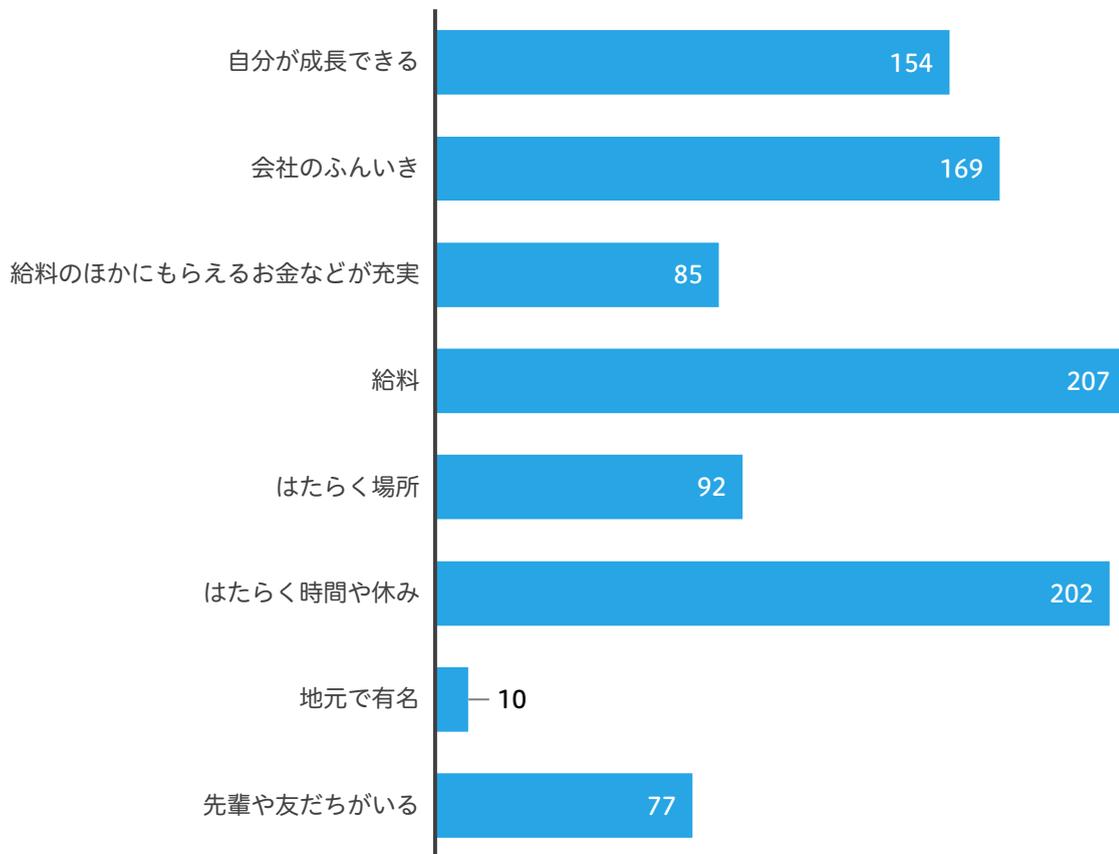
Q26.あなたは、会社の仕事の内容、働く時間、給料、スキル向上や資格の取得など、業界（仕事の種類）ごとの実際の仕事を知りたいですか。



【調査結果の概要】

「ややそう思う」(53%)が約半数を占めており、以下に「強くそう思う」(30%)、「あまり思わない」(12%)、「まったく思わない」(5%)と続いている。

Q27.仕事をする上で、大切だと思うことを教えてください。【3つ選んでください】

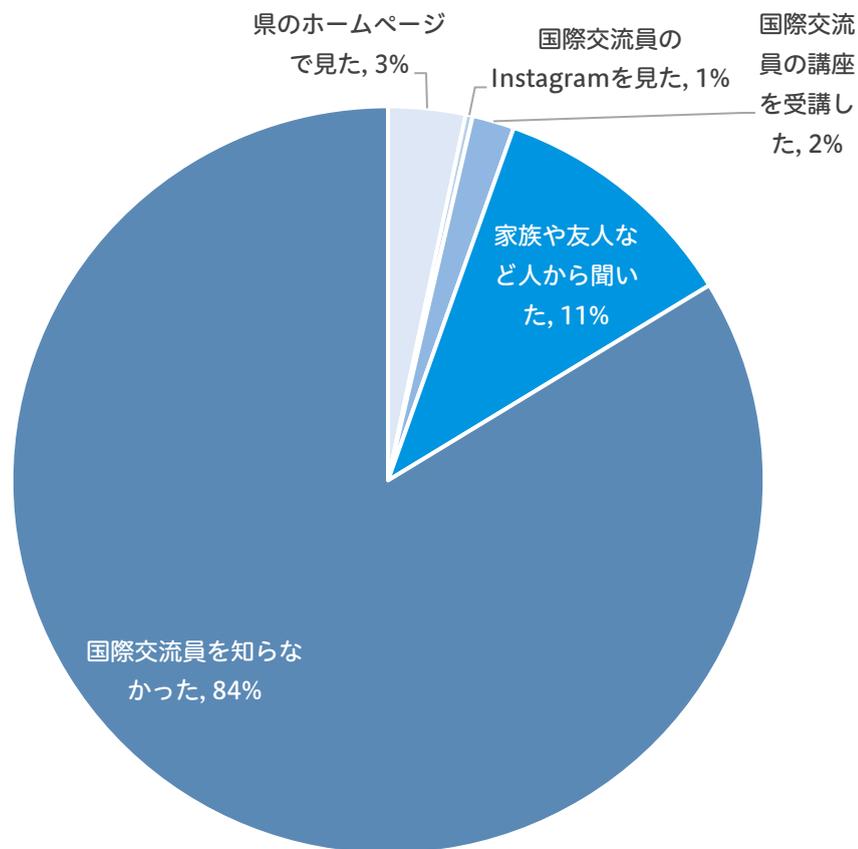


【調査結果の概要】

「給料」(207件)が最も多く、以下に「はたらく時間や休み」(202件)、「会社のふんいき」(169件)、「自分が成長できる」(154件)と続いている。

Q28.国際交流員のことを、何で知りましたか？

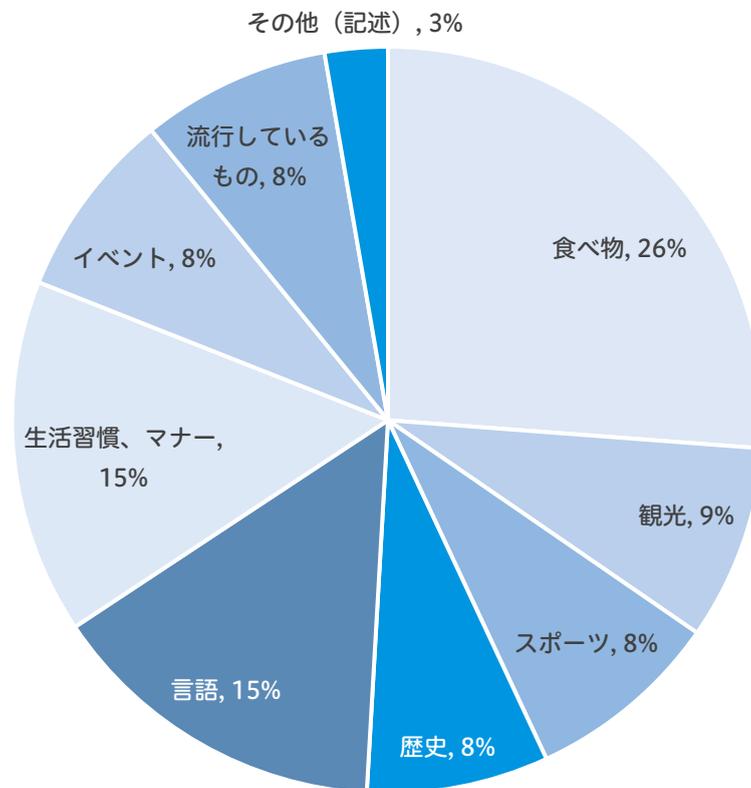
※国際交流員とは、通訳や翻訳、自国の文化紹介などで国際理解を深める活動をする外国人です。



【調査結果の概要】

「国際交流員を知らなかった」(84%)が最も多く、8割以上を占めており、以下に「家族や友人など人から聞いた」(11%)、「国際交流員の講座を受講した」(2%)と続いている。

Q29.栃木県にはアメリカ人と中国人の国際交流員が働いています。国際交流員から自国の文化紹介をしてもらうなら、何を教えてほしいですか？



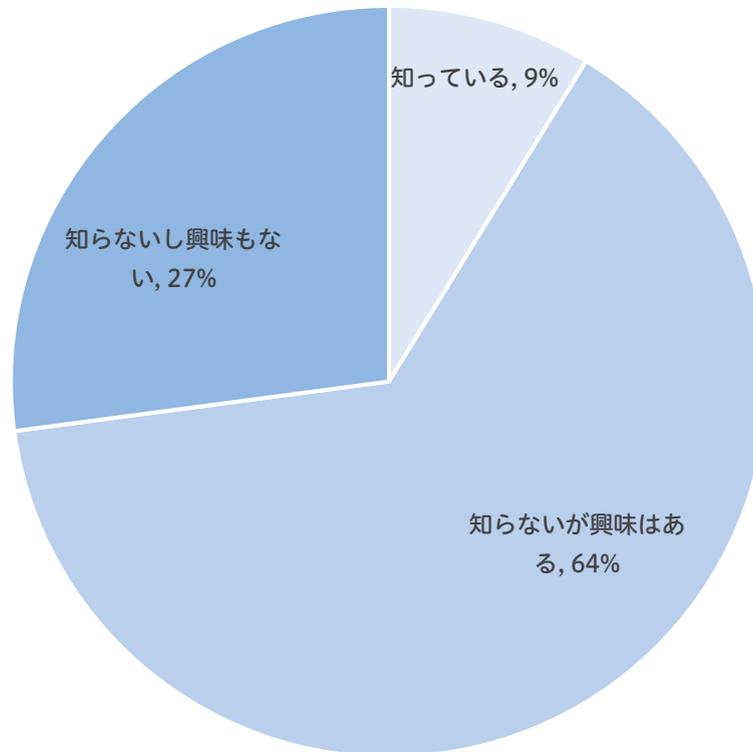
【調査結果の概要】

「食べ物」(26%)が最も多く、次に「生活習慣、マナー」(15%)と「言語」(15%)が同数で続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 自分の国のおもしろいものや楽しいものを知りたいです。日本の学校との違いをしりたいです。
- ・ 楽しく学べるならなんでもいい
- ・ 戦争のこと
- ・ 政治・経済
- ・ お金のこと
- ・ 全部 など2件
- ・ 外国の学校生活について。
- ・ 学校の英語の先生から教えてもらったから
- ・ 名物など色々

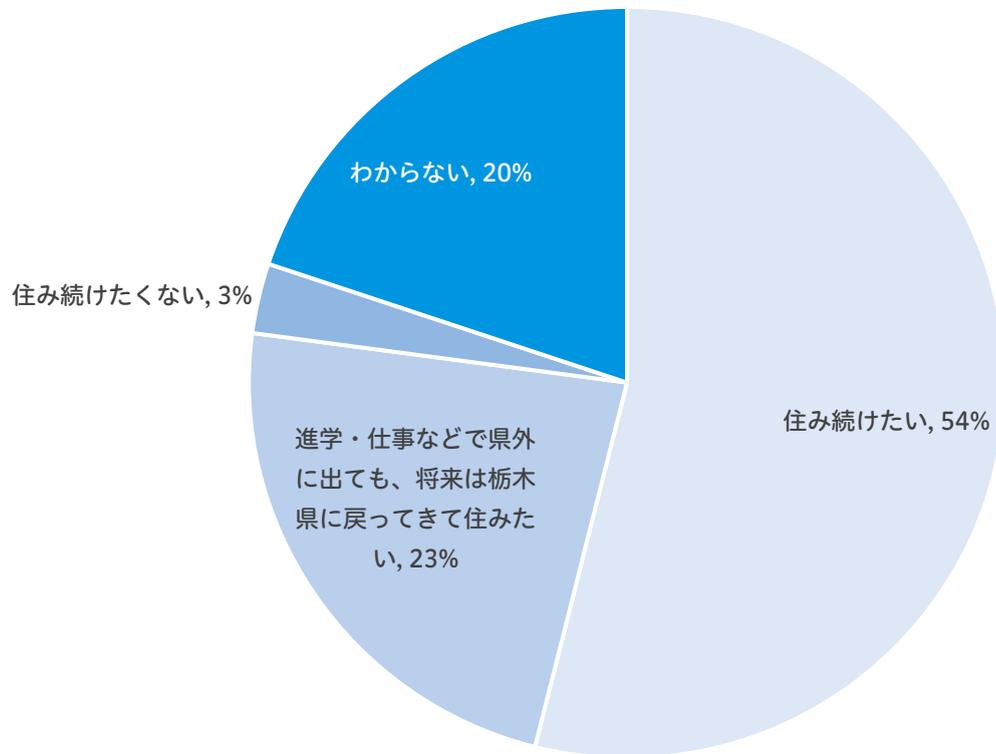
Q30.県では、今後の栃木県がより良くなるように、「とちぎ未来創造プラン」という計画を作っています。この計画を知っていますか。



【調査結果の概要】

「知らないが興味はある」(64%)が最も多く、続いて「知らないし興味もない」(27%)、「知っている」(9%)という結果となった。

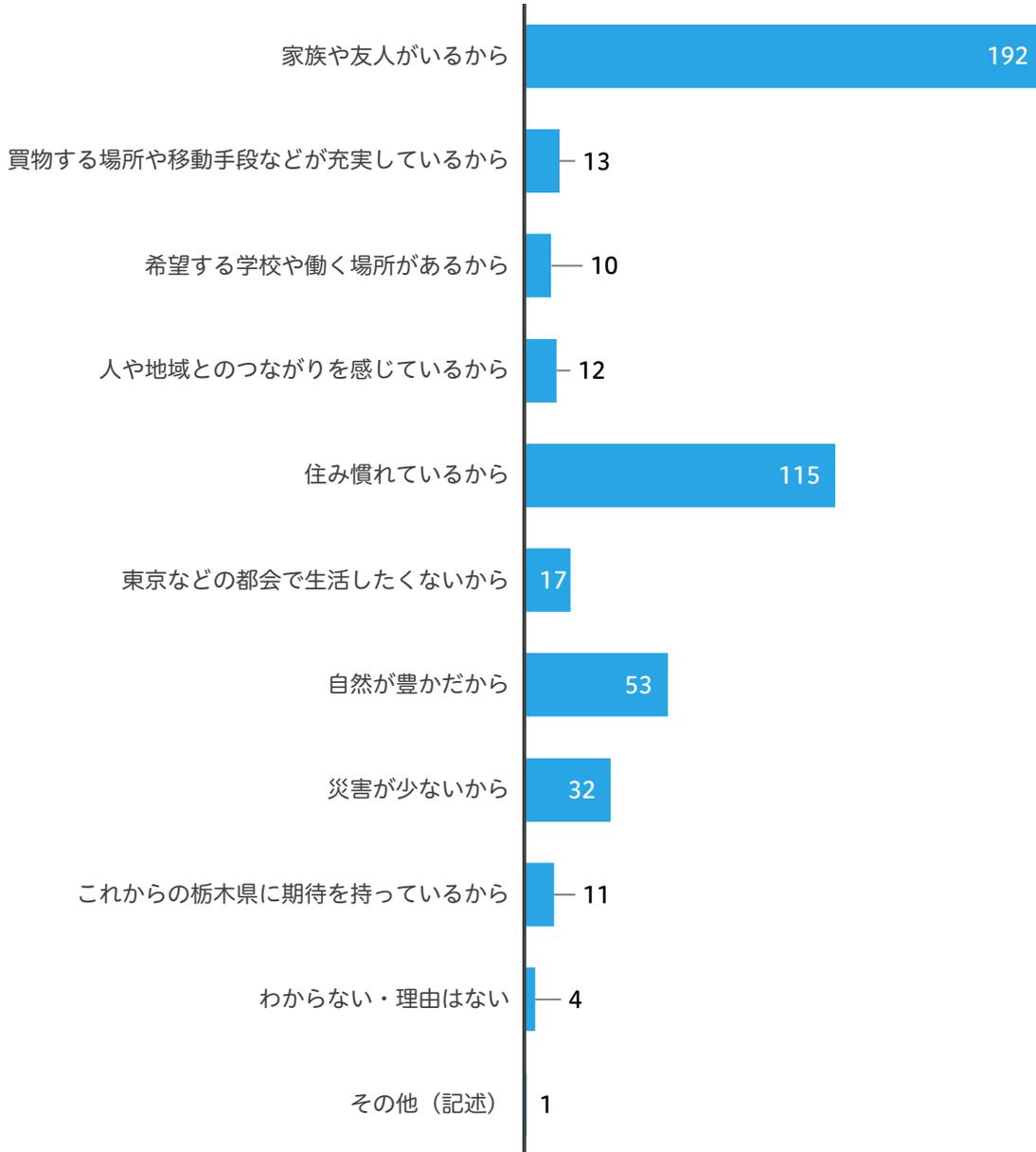
Q31.今後、栃木県に住み続けたいですか。



【調査結果の概要】

「住み続けたい」(54%)が最も多く、以下に「進学・仕事などで県外に出ても、将来は栃木県に戻ってきて住みたい」(23%)、「わからない」(20%)、「住み続けたくない」(3%)と続いている。

Q32. 「Q31」で「住み続けたい」・「将来は栃木県に戻ってきて住みたい」と回答した方に聞きます。栃木県に住みたい理由は何ですか。【2つまで選んでください】



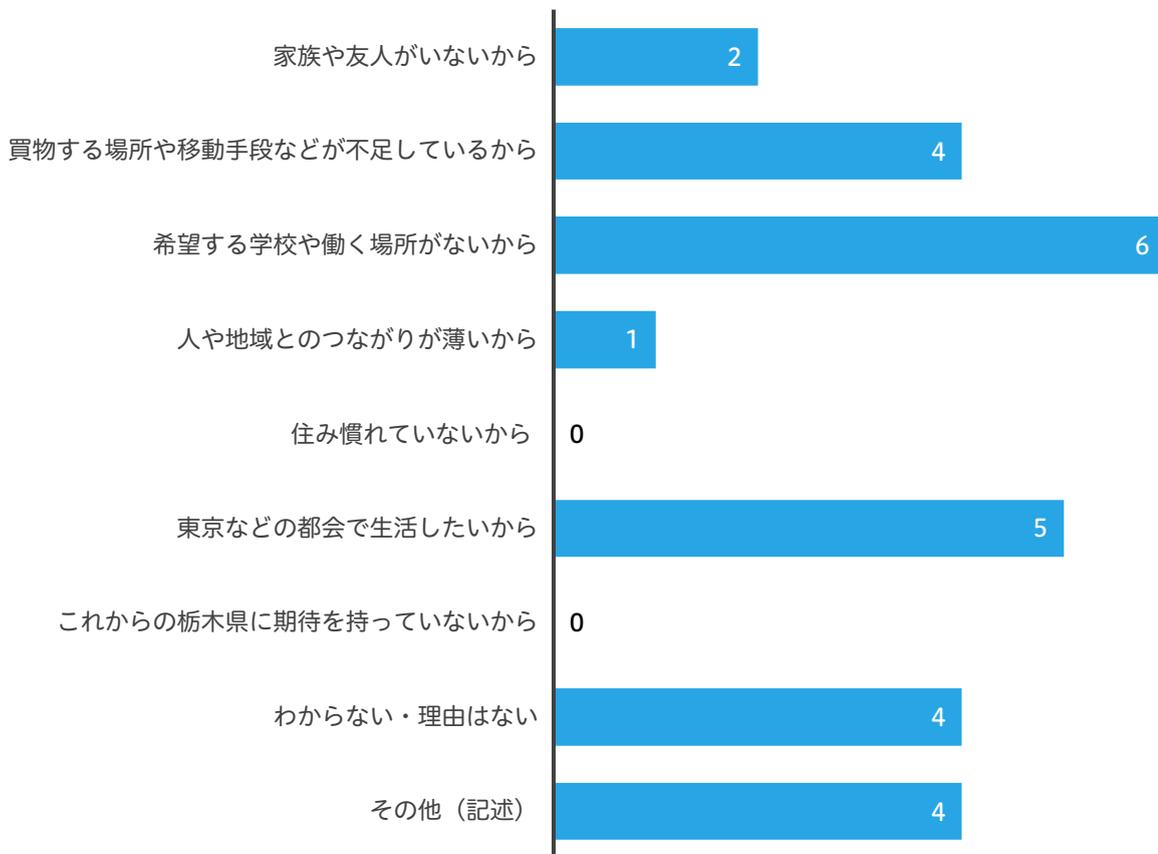
【調査結果の概要】

「家族や友人がいるから」（192件）と「住み慣れているから」（115件）がとくに多く、以下に「自然が豊かだから」（53件）、「災害が少ないから」（32件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 大切な思い出があるから

Q33. 「Q31」で「住み続けたくない」と回答した方に聞きます。栃木県に住み続けたくない理由は何ですか。【2つまで選んでください】



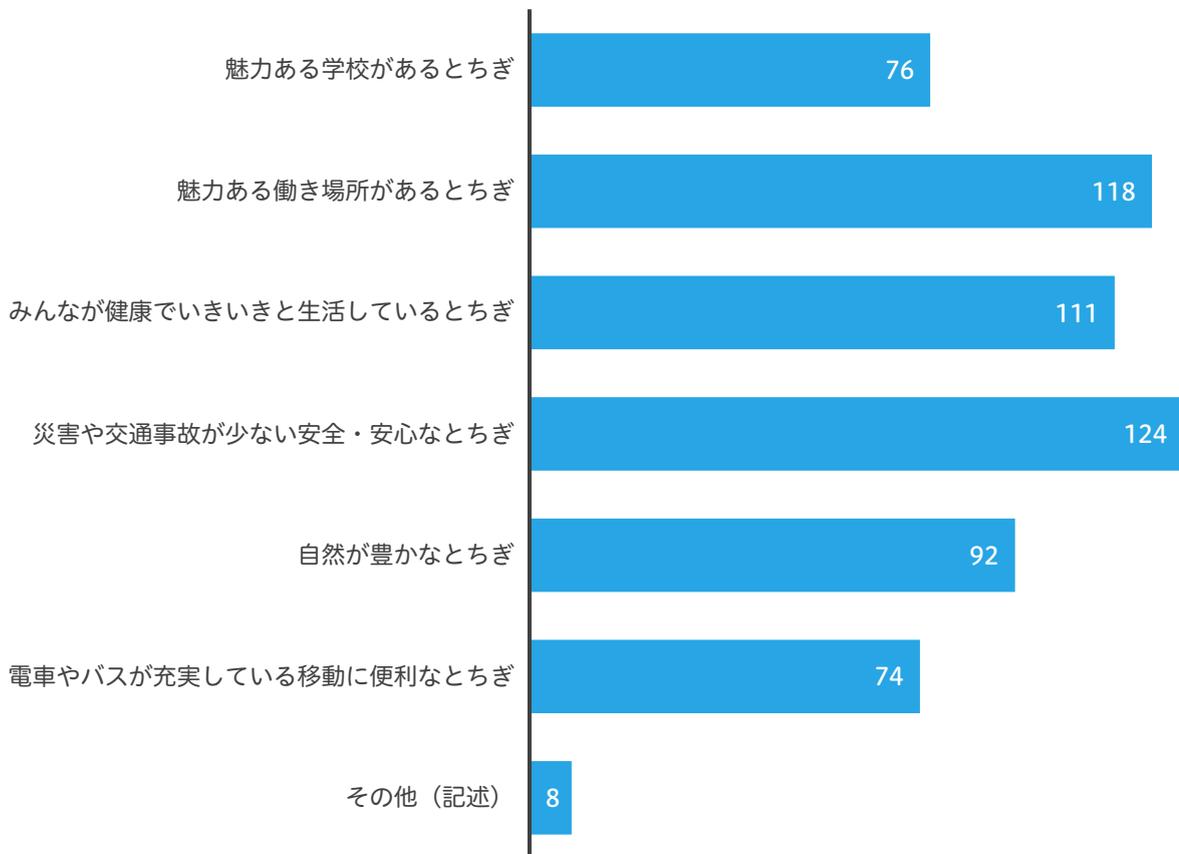
【調査結果の概要】

「希望する学校や働く場所がないから」（6件）と「東京などの都会で生活したいから」（5件）が多く、次に「買物する場所や移動手段などが不足しているから」（4件）、「わからない・理由はない」（4件）、「その他（記述）」（4件）が同数で続いている。

【その他の自由記述】

- ・ 出身が違うところだから出身地に住みたい
- ・ すごく良い所が多いのにブランド力が低い
- ・ 大阪に好きなおとこがたくさんあるので、大阪に住みたい。
- ・ 釣りが出来るところがあまりないから（釣り禁止の池ばかりだから）。
- ・ どうなるかわからないから

Q34.今後、どんな栃木県であれば、住み続けたいと思いますか。【2つまで選んでください】



【調査結果の概要】

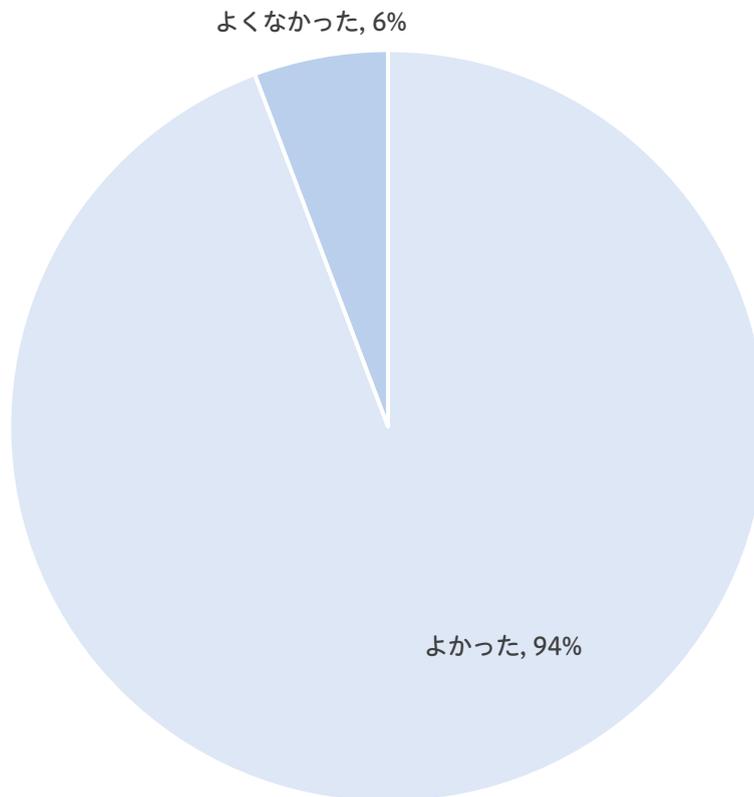
「災害や交通事故が少ない安全・安心なとき」（124件）が最も多く、以下に「魅力ある働き場所があるとき」（118件）、「みんなが健康でいきいきと生活しているとき」（111件）、「自然が豊かなとき」と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ もっと都会な栃木
- ・ 地域の人がやさしいとき
- ・ 遊び場が多い
- ・ 安定した地域、より良い施策を打ち出せる知事や市長に統治してもらいたい
- ・ 住んで楽しい栃木
- ・ 便利
- ・ 子育て世代に優しい
- ・ 一緒に住みたい家族がいること
- ・ 大きい商業施設が出来たら良い。習い事等(教室や学校)の選択肢を持てるようになりたい。

こどもモニターの満足度についてのアンケート

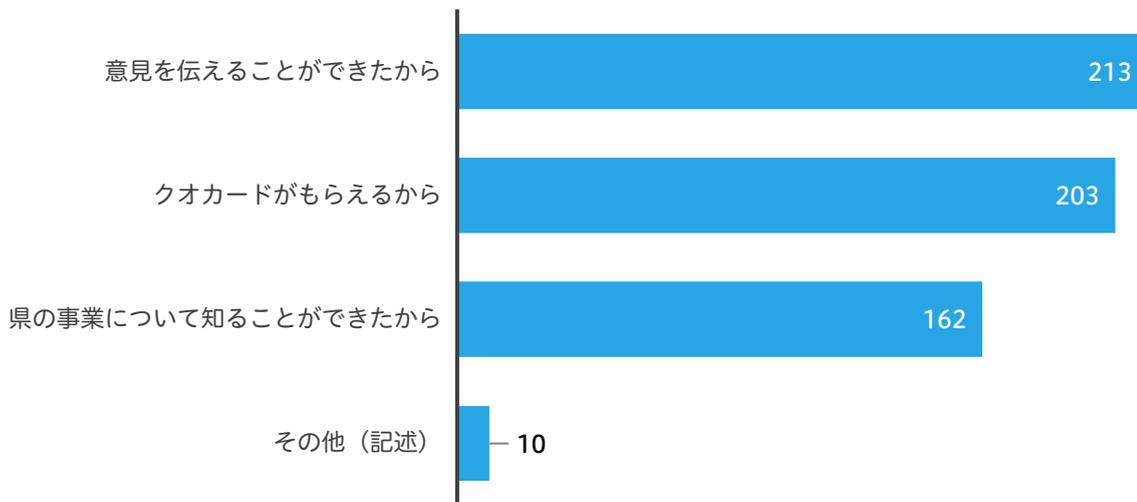
Q1.こどもモニターに参加して良かったと思いますか。



【調査結果の概要】

「良かった」が94%と大半を占めており、「よくなかった」が6%という結果となった。

Q2. 「Q1」で、「よかった」を選んだ方に質問します。それはなぜですか。【いくつか選んでください】



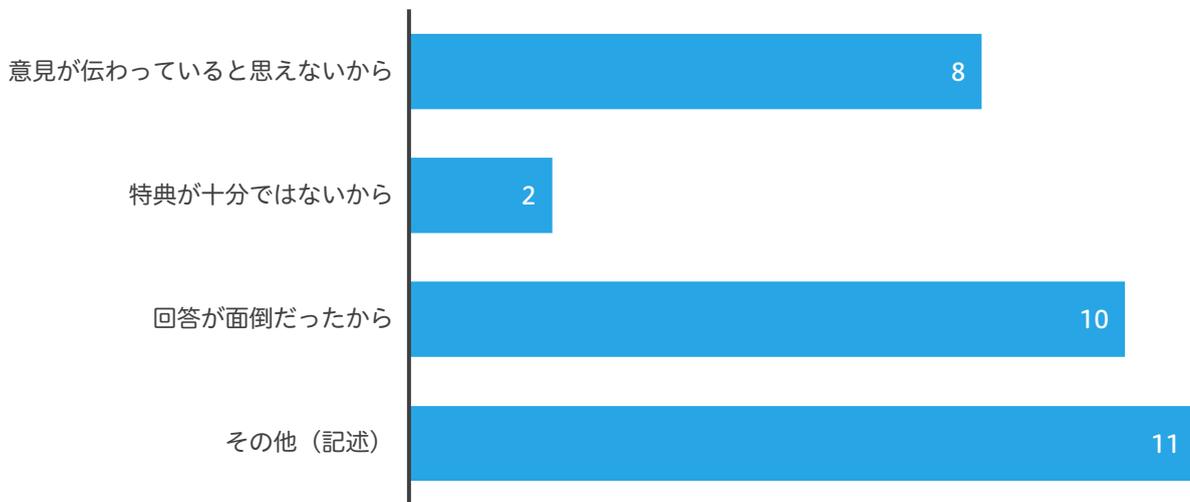
【調査結果の概要】

「意見を伝えることができたから」（213件）と最も多く、以下に「クオカードがもらえるから」（203件）、「県の事業について知ることができたから」（162件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ お母さんと一緒にやるのがたのしかったです。わからない言葉が多かったので難しかったです。
- ・ 選ぶのが楽しかった。好きなのがいっぱいあった。
- ・ 何かのお役に立てたら嬉しいから
- ・ お母さんやお父さんに聞きながら3人で答えることができたから。
- ・ 今の現状や、知らない事が沢山知れたからです♪
- ・ 父とわからないながらに話せたこと
- ・ よかったですが、むずかしい内容の質問の仕方があって、お母さんにいつも説明してもらったので、わかりやすい言葉で質問してほしい。
- ・ 自分の意見が素直に答えられるから
- ・ 親子で考える機会を頂き、知らない事を教えて下さり、ありがとうございました。
- ・ アンケートに答えるのが楽しかったから

Q3.「Q1」で、「よくなかった」を選んだ方に質問します。それはなぜですか。【いくつでも選んでください】



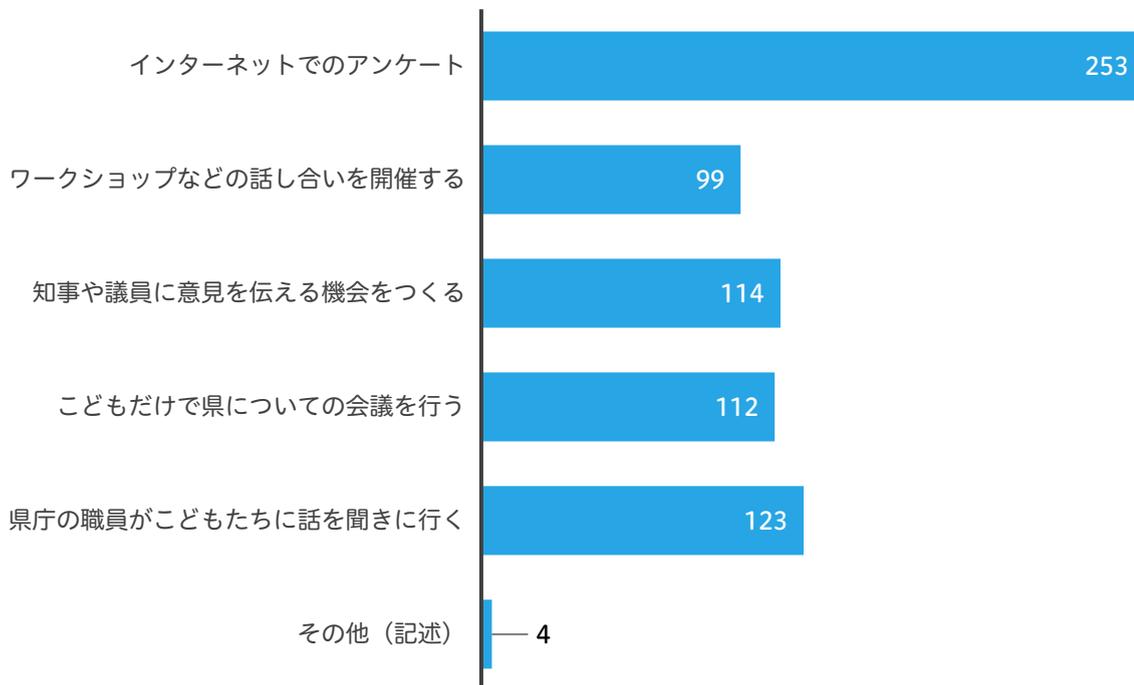
【調査結果の概要】

「その他」（11件）が最も多く、以下に「回答が面倒だったから」（10件）、「意見が伝わっていると思えないから」（8件）、「特典が十分ではないから」（2件）と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ よく分からなかったから
- ・ 問題が長すぎて大変だったから。
- ・ 回答でたくさんかくのはいいけれど、おおすぎた。
- ・ しつもんがむずかしすぎたふりがながなくてじぶんひとりでやれなかった
- ・ しつもんがむずかしかったから
- ・ ちょっと大変質問が難しいし多かった
- ・ 聞かれている内容が分からなかったから。
- ・ 僕には難しいものがたくさんあった子供に向けての問題かわからないものも多かった大人用と同じなのかなと思った学校生活でもっとこうしてほしいとかを書ける所だと思って応募したのに違った
- ・ 難しいながい
- ・ 色々話すいい機会にはなりましたが、質問が難しく、もう少し年齢別にするなどの対策が必要かと思います（この質問のみ、親代筆）
- ・ しつもんが思ったより難しいものだった

Q4.子ども、若者、保護者から意見を聞く方法として、よいと思うものはどれですか。【3つまで選んでください】



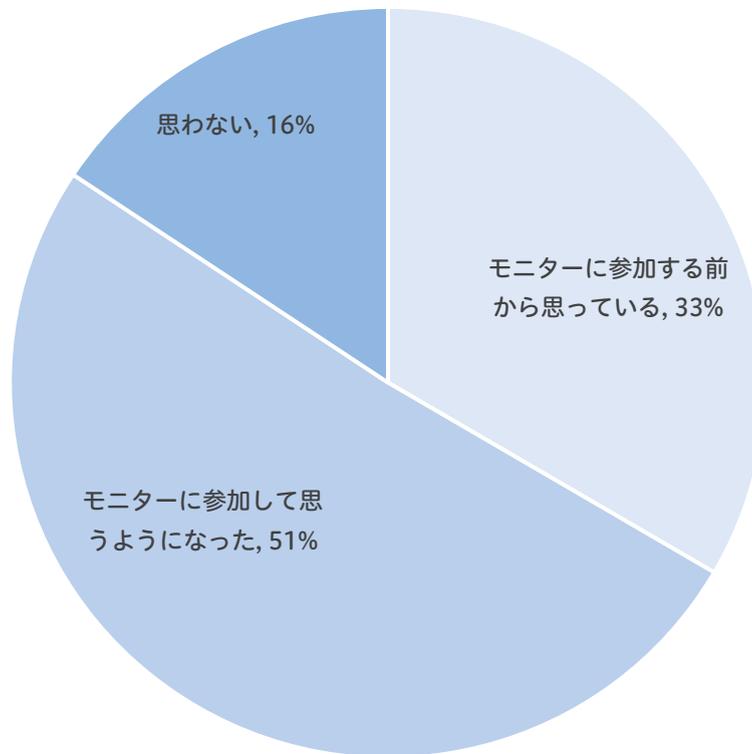
【調査結果の概要】

「インターネットでのアンケート」(253件)が特に多く、以下に「県庁の職員が子どもたちに話を聞きに行く」(123件)、「知事や議員に意見を伝える機会をつくる」(114件)、「子どもだけで県についての会議を行う」(112件)と続いている。

【その他の自由記述】

- ・ アンケートも良いが、年齢で分けた方がいい。難しかった。
- ・ 学校に来てもらってみんなで意見を出し合う
- ・ いろいろな地域の人達が集まり会議をする。
- ・ 子供たちの学校に会いに行く。

Q5. 「自分が社会の一員である」と思いますか。



【調査結果の概要】

「モニターに参加して思うようになった」が51%と最も多く、続いて「モニターに参加する前から思っている」が33%、「思わない」が16%という結果となった。